

(一) 南京會議ノ不成功ハ馮將軍ノ立場ヲ益々困難ナラシメタルモノニシテ殊ニ張勳倪嗣冲ノ手ヨリ極端ニ會議ノ目的ヲ蹂躪セラレタル一事ハ各省代表ニ対スル面目上尙又中央ニ対スル自己ノ立場ニ顧ミ甚タ堪ヘ難キ所ニシテ日夜煩悶シツ、アリ未タ何等ノ術策ヲモ案出セサルモノノ如シ

(二) 張勳ハ倪嗣冲ト連名ニテ最近徐州ヨリ馮將軍ヘ電報ヲ寄セ同地ニ於テ重ネテ代表會議ヲ開クヘキニヨリ南京ヨリモ代表ヲ派遣セラレタキ旨ヲ申越セルモ馮ハ一応承諾ノ旨ヲ答ヘタルノミニテ未タ何等ノ措置ヲモ執ラス蓋シ張ノ意ハ袁ヲ据置キ武力解決ニ出ントスルニ在ルハ謂フ迄モナシ

(三) 一説ニハ又手埒ニ於テ張勳ノ代表李某ト北京ヨリ来レル阮忠枢ト相会シ中央擁護袁据置ノ主義ヲ決シ南京會議ヲシテ之レヲ承認セシメント企テツ、アリトモ伝ヘラルル所中央擁護ハ兎モ角袁ノ据置ニハ何人モ同意セラルヘシ

(四) 北京政府カ武力解決ニ決セリトノ報道ハ上海ヨリ馮將軍ノ許ニ達シタルハ事実ナルモ馮ハ之レヲ謠言ナリトシ

事項二 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件

一六一 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱危篤ニ付応急ノ処置方考慮アリタキ旨
稟申ノ件

第五〇七号 極秘至急

六月六日午前九時仏国公使ヨリ極内密ノ報道トシテ袁世凱ハ既ニ危篤ニ陥リ何時絶命スルモ計リ難ク總統府ハ昨夜ヨリ大混雜ノ模様ニテ近侍ノ者共ハ多分動乱發生ヲ予期シテカ公使館区域ニ逃ゲ支度ヲ為シツアル旨申越セリ
右ハ過日来袁ノ治療ニ從事シ居ル仏国医師ヨリ承知シタルモノラシク最早袁ノ生命ハ旦タニ迫リ居ルハ事實疑ナカルベシ就テハ追テ本使ヨリ意見ノ廉申出ノ次第アルベキモ此ノ突然ノ事態ニ対スル応急ノ処置方速ニ帝國政府ニ於テ考慮ヲ尽サルノ要アルヘシト信ス目下ノ処何等ノ変象ナキモ一旦急報ノ發表セラル、ニ至ラハ人心ノ動揺軍隊ノ叛乱等一時騒擾ヲ見ルコトナキヤト懸念セラル(終リ)

テ信シ居ラス

(四) 当地ノ各代表ハ順次引揚ケツ、アリ其ノ津浦線ニ依ルモノハ徐州ノ張勳ニ引留メラレツ、アルモノノ如シ

(五) 湖南ノ独立ハ湯將軍カ張勳等ノ圧迫ト南方側ノ要請トニ板挿ミトナリ已ムナク一時ノ方便トシテ宣言ヲ行ヒタルモノニシテ現ニ湯ヨリハ右ノ趣ヲ申越シ裏面ノ連絡ヲ保チツ、アリ

(六) 浙江ノ呂公望ハ馮ノ門下生タリシ關係モアリ兩者ノ間ニハ依然脈絡ヲ通シツ、アリ

(七) 当地中国銀行ニ於テハ馮將軍ヨリ三十万弗ヲ支出シ兌換準備ニ充テシメタルタメ同行ノ紙幣ハ依然通用シ居ルモ他地方トノ為替ハ全部不能ニシテ殊ニ硬貨ハ五十弗以上他地方ヘ持チ去ルコトヲ禁シ居ルタメ商業取引ハ全ク中止ノ姿ナリ

叙上ノ内容ニ付テハ著任早々研究ノ遑ナク真偽俄カニ判断シ難キモ不取敢御参考迄ニ電報ス尚本官ハ兩三日中ニ馮將軍等ニ会见シ真相突止メ方ヲ試ムヘシ

北京ニ電報シ上海濟南ヘ郵報セリ

一六二 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱死去ノ場合ニ処スベキ善後策ニ付英、
仏、露、白、伊各国公使ト協議申合ノ件

第五〇九号 極秘

六日午前十時半頃英仏兩公使本使ヲ來訪シ袁世凱死去ノ場合ニ処スベキ善後策ニ付協議ヲ為シ露白伊三国代表者ヲモ當館ニ招キ不取敢応急ノ措置トシテ左ノ通申合セタリ

(一) 成ルヘク速ニ六国代表者ヲ打揃ヒテ段祺瑞ヲ往訪シ愈々袁死去ノ場合ニ如何ナル措置ニ出ヅル決心ナルヤヲ突止メ尚六国代表者ノ意見トシテハ黎元洪ヲ大總統ニ就任セシムルコト正当ト思料スルニ付右ニ依リ時局ニ処スヘキ最善ノ手段ヲ講セラル、様切望スル旨申入ルルコト

(二) 直ニ北京守備隊長會議ヲ開カシメ万一動乱發生ノ場合外人保護ノ方法ヲ講究セシメルコト

(三) 右會議ノ半バニ袁世凱死去ノ内報ニ接到セリ

將又英仏兩公使ヨリ本使ニ向テ此ノ場合出來得ル限速ニ北

一六三 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一六三 一六四

京駐屯日本軍ノ数ヲ定員迄増加セラルルコトヲ希望スル旨申出デタル処本使ニ於テモ其ノ必要ヲ認ムルニ付至急実行ヲ見ル様御詮議ヲ請フ

一六三 六月六日 石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

黎元洪ノ身辺保護ヲ加ヘラレタキ旨訓令ノ件

第一九七号 極秘

貴電第五〇七号ニ関シ此際黎元洪ノ身辺ニ危険ナカラシムル為メ貴地守備隊長トモ御協議ノ上機宜ノ措置ヲ執リ置カレタシ守備隊長ニハ參謀本部ヨリ公使館附武官ヲ經テ相當訓令アル筈ナリ又必要ナレハ黎ヲシテ貴館内ニ避難セシメ保護ヲ加ヘラル、ヤウ致シタシ

一六四 六月六日 上原參謀總長ヨリ
齋藤公使館附武官宛(電報)

公使ト協議ノ上黎元洪ノ身辺充分保護セラレ

タキ件

電報案

袁世凱ハ死去シタル趣キ公使ヨリ確報アリ貴官ハ公使ト協議ノ上黎元洪ノ身辺ニ危険ノ恐れアリト認ムレハ速ニ予定

軍隊中ニ異変ヲ生ズル憂ナキヤ治安秩序ノ維持ニ関シ十分ノ手配出来居ルヤト問ニ対シ段ハ自分ハ總理タルト同時ニ陸軍總長ヲ兼ネ御尋ノ点ニ関シテハ当面ノ責任者ナルヲ以テ平素ヨリ夫々細心ノ注意ヲ払ヒ居ルモ今朝疾ニ城内外ノ軍隊ニ対シテ嚴重ノ訓令ヲ發シ尚先刻モ陸軍部ニ於テ當事者ノ會議ヲ開キ軍隊ノ取締ニ付再ヒ訓令ヲ發シ置キタレハ秩序ノ維持及各国民ノ保護上先ツ心配ナカルヘシト信スト云ヘリ英國公使ハ更ニ之ハ閣下ガ依然國務總理トシテ在職セラル、モノト心得御尋ネ致ス次第ナリトテ袁總統ノ後繼者ハ誰ニ確定セシヤト問ヒタル処段ハ自分ハ無論引続キ國務總理タルヘシ而シテ大總統ノ後繼者ハ約法第二十九条ノ規定ニ拠リ黎副總統当然之ニ任スル筈ニテ成ルベク速ニ公式發表スル積ナリト答ヘ此ノ時曹總長ハ本件ニ関シテハ何レ正式ニ公文ヲ以テ本官ヨリ本日内ニ各国公使ヘ通報スル筈ナリト附言セリ英國公使ハ最後ニ我等同様ハ國務總理ノ答ニ対シ極メテ満足ノ意ヲ表スルト共ニ今後後繼者タル黎副總統ニ対シ出来得ル丈 moral support ヲ与フル考ナル旨ヲ声明シテ一同引取レリ

一六五

一三二

ノ方法ニ依リ彼ヲ救ヒ出シ充分保護ヲ加ヘラレタシ是レ帝國將來ノ政策上最モ必要ノ事ナリ右ハ既ニ外務大臣ヨリ公使ニ訓令セラレタル筈ナリ又貴官ハ今後北京方面ニ騷亂發生ノ顧慮アリト認ムレバ天津ヨリ一中隊ノ兵力ヲ増加スルノ手筈ヲ予メ石光司令官ト協議シ置カレタシ緊急ノ場合ニハ公使ト協議ノ上直ニ之ヲ実行シテ差支ナシ此事ハ当方ヨリ石光司令官ニ内報シ置ケリ

一六五 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱逝去ニ際シ同盟六国公使曹外交總長及段國務總理ニ弔辭ヲ述ベタル後治安問題及後繼者問題ニ関シ質問應答シタル件

第五一三号

往電第五一〇号ノ通六月六日午後一時日英露仏白伊六国公使同道曹總長ヲ往訪シタルニ幸ヒ段國務總理モ来合セタルニ付英國公使ハ一同ヲ代表シ聞ク所ニ依レハ袁總統ハ遂ニ逝去サレタリトノコトナルガ事實ナルヤト問ヒシニ段ハ本日午前十時死去セリト答ヘタリ英公使ハ更ニ袁總統逝去ニ対シ一同ヲ代表シ深厚ナル弔辭ヲ述べ且今後当北京及各省

一六六 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎元洪大總統就任決定ニ関シ内報ノ件

第五一四号 至急

黎元洪側ヨリ坂西方ヘ内報スル所ニ依レハ同人ハ愈々明七日午前十時大總統ニ就任スルコトニ決定シ目下張國淦饒幹祥外一名黎宅ニ会合就任ノ申令起草中ナリト云フ在支各領事ヘ転電セリ

一六七 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁ノ死去及其善後策特ニ財政問題ニ関シ梁士詒ヨリ実相寺ニ談話及依頼ノ件

第五一五号 至急

六月六日午後二時梁士詒実相寺ヲ来訪シ袁世凱死去シタルカ今朝三時同人ハ其ノ死期ノ迫レルヲ知り病床ニ徐世昌段祺瑞及王士珍ノ三人ヲ招キ其ノ後事ヲ托シ尚大總統ハ約法ノ条項ニ於テ黎元洪ヲシテ之ヲ代行セシムヘシト云ヒ本日午前十時過落命セリ袁死去ノコト並ニ黎就任ノコトハ今夜中遅クモ明朝迄ニハ之ヲ公表スル筈ニテ目下善後ノ事宜ニ

一六六 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一六六 一六七

一三三

関シ夫々手配中ナル旨ヲ述ヘ袁ノ死去ニ依リ根本問題ハ之ニテ一段落ヲ告ゲタルガ愈々此事カ公表セラル、ニ於テハ人心ノ動揺渺ナカラザルベク此際金融關係ノ円滑ナラザルハ益々人心ヲ不安ナラシムルノミニテ差向キ予テ内話シ置キタル三千万円ヲ限度トシテ塩税剩余金ヲ引当ニ各国銀行ニ於テ中國交通銀行紙幣ノ受入ヲ承諾セラレ以テ人心ノ動揺ヲ防止シ秩序ノ維持ヲ図ル計画ニ是非援助ヲ与ヘラレタク何分ノ尽力ヲ頼ム旨申出デタル由右ニ對シ実相寺ハ目下ノ場合日本公使館ノ意向ヲモ承知シ居ラザルヲ以テ自分トシテハ何等ノ意見ヲ言明シ兼ヌル旨ヲ述ヘ程能ク挨拶シ置キタリトノコトナリ尤袁引退後ニ於ケル財政上ノ援助ヲ要スル次第ハ予テヨリ再三本使ヨリ具申ノ通ナルカ愈々黎元洪就任ノ曉ニハ焦眉ノ急ヲ要スル問題トシテ正式ニ支那側ヨリ申出来ルコト、思料スルニ付テハ新政府ニ對スル財政援助ノ件ニ関スル帝國政府ノ御意見至急本使含迄ニ予メ承知シ置キタシ本件ハ実相寺ヨリモ本店ヘ電報セル筈

一六八 六月六日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

中国側ノ塩税剩余金請求ニ對シ關係国ト共ニ

下タスノ機ナカラシカト信ズ就テハ此際帝國政府ニ於テ漫然支那側今回ノ申出ニ對シ故意ニ前議ヲ固執シ各国ノ意見一致シ居ルニ拘ラズ財政上急場ノ援助ヲ与フルコトヲ妨グルノ舉ニ出ヅルハ間接ニ帝國ガ支那政局ノ攪乱ヲ欲スルノ責任ヲ負ハザルベカラザルニ顧ミ將又予テ坂西カ參謀本部ノ内意ヲ伺ヒ袁退位後ニ於テ黎元洪ニ財政上相当ノ援助ヲ与フルニ躊躇セザル旨ヲ内示シタル行懸リアルニ照シ又斯クテハ内外人ノ帝國ニ對スル氣受ケ益々面白カラザルモノアルニ考ヘ我國ハ断然率先シテ新政府ヲ援助スルノ態度ヲ示シ一ハ以テ内外人ノ不安ヲ解キ一ハ以テ帝國ガ何時迄モ支那ノ擾乱ヲ希望スルモノニアラザルヲ宣示シ茲ニ往電第四七五号末段本使所見第一ノ方針ニ入ル端緒ヲ開カレンコトヲ切望ス然ルニ本件ハ事極メテ急ヲ要スル緊急ノ問題トシテ關係国公使ニ於テ異議ナキ限り本使ハ速ニ各同僚ト同一歩調ニ出デ支那側申出ニ同意ヲ表スルコトト致度シ大至急何分ノ御電訓ヲ請フ

一六九 六月七日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎元洪大總統就任ノ公文接到ノ件

一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 一六九 一七〇

贊同スルコトト致シタキニ付請訓ノ件

第五一六号 至急

六月六日曹外交總長ハ王鴻年ヲ使トシ袁死去ニ伴フ善後処置トシテ差当リ軍隊ノ支払等資金ノ調達方焦眉ノ急ニ迫リ居ル所何レ明朝ニテモ正式ニ支那政府ヨリ銀行團ニ塩税剩余金ノ払渡シヲ請求スル筈ナルカ從來ノ行懸リモアル問題ニ付特ニ本使ノ好意的考慮ヲ促ス次第ナリトテ最早袁モ瞋目シ黎元洪ノ就職今明日ヲ出デズ政局ノ事情ハ従前ト大ニ変シ南北融和モ現実スベク旁々別段南方ヨリ故障モアル間敷ト察セラル、ノミナラズ目前軍隊動揺ノ機刻々迫マリツツアル際ノコト故此ノ危局ヲ救フタメ応急ノ処置トシテ日本ニ於テモ各国同様是非支那政府ノ申出ニ同意セラルル様懇望ニ堪ヘズト申出デタリ

昨今当地ニ於ケル金融融界危殆ノ状態竝目下ノ時局ニ對シ内外人一樣ニ極メテ不安ヲ感シツツアル次第ハ本使屢次ノ電報ニテ御詳悉ノ通ナルガ今や袁ノ死去ハ当地ノ物情ヲシテ益々騒然タラシメ時局ノ前途極メテ險惡ナルモノアリ若シ何処カニ破綻ノ動機アラバ忽チ大爆發ヲ来タスノ徴候歴然タリ今ニシテ時局收拾ノ謀リゴトニ出デズンバ遂ニ又手ヲ

第五二三号

大總統病死ニ依リ大總統欠位トナリタルニ由リ黎副總統ハ六月七日午前十時法規ニ從ヒ中華民國大總統ヲ接任スヘキ旨曹兼任外交總長六月六日附ノ公文七日午前二時接到セリ在支各領事香港ヘ転電セリ

一七〇 六月七日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁ノ死去後段總理ノ措置振宜シキヲ得異変生ノ徴候ヲ認メザル件

第五二四号

袁世凱ノ死去當時ニアリテハ事情ノ判明セザル為メ何等カ異変ノ起リハセズヤト各方面ニ於テ懸念セラレタルモ袁臨終前後ニ亘リ段總理ノ払ヒタル細心ノ注意ト機宜ニ適シタル措置振万端布置極メテ宜シキヲ得タルモノ、如ク其ノ袁ノ死期近ツクヤ先ツ遲滞ナク黎ヲ推スコトヲ決シタルト軍隊巡警ノ騷擾ヲ防止スルニ周到ナル手配ヲ為シタルコト袁ノ死去後直チニ黎ヲ訪ヒ其就任ヲ慫慂シ且ツ之ヲ助ケ時局ニ当ルノ誠意ヲ示セルコト乃至ハ遂ニ昨夕ニ至リ袁ノ死去並黎ノ總統就任ヲ公表セル等諸事極メテ順序ヨク且ツ敏速

一七二 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一七一 一七二

ニ取運ハレタルハ最モ人心ノ動揺ヲ防クニ効力アリタルコトト信ス之ヲ以テ人心次第第二落付キ昨夜ハ軍隊ノ動揺等懸念セラレタルニ拘ラズ何等ノ異変ナク市中ノ警戒ノ如キモ辻々ニ多少ノ警備ヲ嚴ニセル外殆ンド平時ト異ラズ從テ目下ノ処何等異変ノ生スルガ如キ徴候ナシ尤モ天津方面ヘノ避難者ハ続々トシテ益々其数ヲ増シツ、アリ
在支各領事及香港總領事ヘ転電セリ

一七一 六月七日 石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

大總統ノ職ニ就キ時局收拾及日中親交確立ノ
任ニ当ラルル様黎元洪ニ申入方訓令ノ件

第二〇〇号 極秘 至急

貴官ハ至急黎元洪ニ対シ左ノ趣旨然ルヘク申入レラルヘシ
「今回袁總統逝去シタルニ付黎氏ニ於テ大總統ノ職ニ就カ
レ以テ時局收拾ノ任ニ当ラル、ハ約法上当然ノコト、ハ申
ナガラ詢ニ機宜ノ措置ニシテ黎氏カ時局艱難ノ秋ニ当リ此
重任ニ就カル、ハ帝國政府ニ於テ最モ深甚ナル同情ヲ表ス
今後黎氏ハ必ス先ツ國中ノ異分子ヲ融和統一スルニ努メ南
方側ノ主張ノ如キニ対シテハ慎重ノ考慮ヲ加ヘテ之ト妥協

内務大臣法学博士 一本喜徳郎殿
外務大臣男爵 石井菊次郎殿

袁總統訃音ニ対スル在留支那人意嚮ノ儀ニ付
報告

袁總統ノ訃音ハ事突然ニ出テ在留支那人ノ多クハ其ノ真偽
ヲ疑ヒ未タ猝ニ袁カ亡後ノ支那ニ関シテ口ヲ開クモノ尠シ
今二三有力者ノ意嚮ヲ探ルニ大略左記ノ通ニ有之候尚引続
キ注意中ニ候得共不取敢此段及申報候也

左記

帝政問題以後ニ於ケル袁ノ声価ハ又昔日ノ比ニ非ズト雖其
ノ威望尚侮リ難キモノアリシハ否ムヘカラス彼ハ実ニ支那
近世ヲ曠フスル偉傑タルコトハ論ナキ処ナルモ其ノ非難又
殆ント挙ケテ数フヘカラス袁ヲ喪ヘル今後ノ支那ハ内地ノ
紛乱益々混沌タルモノアルヘシ而シテ大總統ノ職ハ当ニ黎
元洪之ヲ襲フナラムカ吾人ハ時局対応ノ一策トシテ此際首
都ヲ南京ニ遷シ約法ヲ真ニ復活シ国会ヲ興シテ民意ヲ改メ
亡命者ヲ全免シテ方今四散セル新進ノ士ヲ集中スルニ於テ
ハ庶幾ハ頽瀾ヲ既倒ニ回スコトヲ得ルニ至ルベキ乎云々

一七三 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一七三 一七四

一三六

ヲ遂ケ全国動乱ノ原因タリシ禍根ヲ除キ以テ平和恢復ノ事
業ニ尽瘁セラルヘキヲ信ス而シテ差当リノ急務トシテ先ツ
袁氏時代ニ於ケルカ如キ日支ノ乖離ヲ来ス如キ政策ヲ繰返
ヘスノ懸念ナキ新政府ヲ任命セラル、ニ在ルコト、思考ス
ル処同氏ノ自ラ任命セラルル新政府ニシテ誠意国内秩序ノ
回復ト日支親交ノ確立トニカムルニ於テハ帝國政府ハ出来
得ル限り直接間接ニ援助ヲ与フヘキヲ以テ帝國政府ニ信賴
シ何事ニテモ遠慮ナク申出デラルヘシ」

尚右ノ趣申入ル、ト共ニ黎ハ凡ソ如何ナル顔振ヲ以テ新政
府ヲ組織スル内意ナルヤ及南方ニ対シテハ如何ナル意嚮ナ
ルヤ出来得ル限り突止メ前記ノ趣黎ニ申入レノ結果ト共ニ
電報アリタシ

一七二 六月七日 清野兵庫縣知事ヨリ
一本内務大臣ヨリ
石井外務大臣宛

袁世凱死去ニ関スル在留中国人ノ意向報告ノ
件

兵彙秘第八九四号
大正五年六月七日

兵庫縣知事 清野 長太郎(印)

一七三 六月七日 石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

黎元洪大總統就任ノ旨通告アリタル件

第二〇一号

六月七日在本邦支那代理公使ヨリ袁總統ハ六月六日巳ノ刻
病死シタルニ付約法ニヨリ黎副總統大總統ノ職權ヲ代行シ
六月七日午前十時就職スル旨通告アリタリ
右在支各領事及香港ヘ転電アリタシ

一七四 六月七日 石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

黎元洪ノ大總統職權代行ニ関スル疑点ニ付回
電アリタキ件

第二〇五号

貴電第五一四号ニヨレハ黎元洪ハ六月七日大總統ニ就任ス
ルコトニ決定云々トアリ又往電第二〇一号ノ通在本邦支那
代理公使ヨリモ右ト同様黎元洪就職云々ト通知シ越シタル
処民国三年ノ約法第二十九条ニハ大總統事故ノ為職ヲ去リ
又ハ執務スルコト能ハサルトキハ副總統代テ其職權ヲ行フ
トアリ又大總統選舉法第十一条ニハ大總統任期満了セザル

一三七

モ事故ノ為職ヲ去リタルトキハ三日以内ニ臨時大總統選舉會ヲ組織スル旨並同条第二項ニハ臨時選舉ヲ舉行以前ノ大總統ノ職權ハ約法第二十九条ノ規定ニヨリ副總統代テ之ヲ行フ旨規定シアルヲ以テ黎ハ袁ノ死去ニヨリ大總統ノ職權ヲ一時代リ行フヘキモ直チニ大總統ノ職ニ就ク訳ニハ非ルヘク而シテ貴電第五一三号ノ(三)ニヨレハ段祺瑞ニ於テモ黎カ約法第二十九条ニヨリ大總統ノ職ニ当ルヘキ旨ヲ語リ居リ北方当局ノ意嚮ハ右約法及選舉法ヲ以テ現行ノモノト認メ之ニ拠ラントスル義ナルコト勿論ノ次第ト察セラル、処果シテ然ラハ六月七日ノ黎ノ就職トハ如何ナル意味ナルヤ將又若シ將來選舉法ニヨリ大總統選舉會ヲ組織スルコト、ナルトスルモ同会々員タルヘキ参政ハ帝制取消以來事實上存在セザル訳ニ付之亦如何致スヘキ次第ナルヤ以上疑問ノ諸点御確カメノ上何分ノ義回復アリタシ

一七五 六月七日 石井外務大臣ヨリ
在南京高尾領事宛(電報)

黎元洪ヲ援助シ時局收拾ニ努力セラレタキ旨
馮國璋ニ申入方訓令ノ件

第一〇号 極秘至急

スルコトトナリタルニ付テハ時局ハ南方側ノ希望ニ向テ一段ノ歩ヲ進メタルモノト認メラル而シテ帝國政府ハ直接間接黎元洪ヲ援助シ其組織スベキ当面ノ新政府ニシテ国内秩序ノ回復及日支親交ノ確立ヲ期図スル誠意ヲ有スルモノト認メラルルニ於テハ之ヲ支持シ以テ時局ノ收拾ヲ計ラシメントノ考ナリ就テハ南方側ニ於テモ此際前記帝國政府ノ意向ヲ諒トシ大局ノ為和衷交譲ノ精神ヲ以テ時局ノ收拾ニ全力ヲ尽サル、様致度シ尚前記黎元洪援助ノコトハ北京ニ於テ日置公使ヨリ同氏ヘモ内々申通シアリトノ趣旨ヲ申入レラレタシ

一七七 六月七日 石光天津軍司令官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

直隸巡按使、天津ノ秩序維持ノ為日本ノ増兵
ヲ希望セル件

極秘第七号

袁死去ノ為天津北京ニ於ケル内外人等ハ如何ナル變事ノ出来スルヤヲ恐レ何等カノ動機ニヨリテ支那人間ニ排外熱ノ起ラントヲ慮リアルモ目下自國ノ到底支那ノ急ニ応シ難キヲ知ルヲ以テ一ニ日本ノ力ニ依頼シアルモ現在北支那駐

一一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 一七七

貴官ハ至急馮國璋ニ面会ノ上左ノ意味ヲ申入レラレタシ
「今回袁世凱ハ死去シ黎元洪大總統ノ職權ヲ代行スルコトトナリタルニツキ帝國政府ニ於テハ間接直接黎元洪ヲ援助シ其任命スヘキ差当リテノ新政府ニシテ国内秩序ノ回復及日支親交ノ確立ヲ期図スルノ誠意ヲ有スルモノト認メラルルニ於テハ之ヲ支持シテ以テ時局ノ收拾ヲ遂ケシメ度希望アリ帝國政府ハ此ノ希望ヲ有スルニ於テ固ヨリ何等ノ私心ヲ抱クモノニ非ス専心大局ノ利益ヲ顧念スルニ出テタルモノナルニ付右ノ趣旨ヲ諒トシ亦大局ノ為和衷交譲ノ精神ヲ以テ黎元洪ヲ援助シ時局ノ收拾ニ努力セラレムコトヲ望ム」
右參考トシテ北京ニ転電アリタシ

一七六 六月七日 石井外務大臣ヨリ
在肇慶太田領事及在雲南堀領事宛(電報)

黎元洪ノ新政府ヲ支持シテ時局收拾ヲ計ラレ
タキ旨岑春煊唐繼堯ニ夫々申入方訓令ノ件

至急

貴官ハ至急(太田(ハハ)岑春煊ニ面会ノ上帝國政府ノ訓令ニ依ルモノトシテ「袁世凱死去シ黎元洪大總統ノ職權ヲ代行

屯ノ日本ノ兵力ハ甚タ寡キ故彼等ハ日本兵ノ増加ヲ熱望シ彼等ノ知人タル日本人ニ對シ其杞慮ノ状ヲ語ルモノ頗ル多ク其結果日置公使ノ北京駐屯兵ノ増加ヲ希望シ丁度本職上京中ナリシ故本職ノ同意ヲ求メ既ニ外務大臣ニ増兵ヲ電請セリ斯ル狀況ナルニ當リ本六日朝袁死去ノ報未タ伝ハラサルノ際直隸巡按使秘書官謝介石ハ巡按使ノ命ヲ承ケテ当軍支那語通訳官中島ヲ通シテ本職ニ左ノ事ヲ申込メリ

今ヤ時局ハ頗ル切迫シ袁政府ノ没落且タニ迫レリ袁政府ノ愈没落スルニ至レハ北京天津ニ如何ナル動乱ノ発スルヤ計リ難シ巡按使ハ其際南下シテ天津ノ秩序ヲ維持シ度キ希望ヲ有スルモ天津附近ニハ巡按使直轄ノ軍隊ナク警察庁長楊以德ハ多数ノ巡警ヲ有スルモ彼等巡警ハ決シテ動乱ノ際頼ミトスルニ足ルモノニアラス故ニ巡按使ハ若シ天津ニ動乱發生セントスル場合ニハ一ニ日本軍隊ノ力ニ依頼シテ秩序ヲ維持スルヲ得ント欲ス日本軍司令官ニ於テ巡按使ノ意ヲ諒トセラレナバ巡按使ハ直接軍司令官ニ對面シ親シク万事ヲ依頼シタキ希望ナリ但シ軍司令官ニ於テ之ヲ承諾セラレタリトスルモ現在天津駐屯ノ日本ノ兵力ハ治安維持ノタメ不十分ナルヲ感スルニ付軍司令

官ニ於テ本國政府ニ請求セラレ予メ駐屯兵ヲ増加セラルルコトヲ希望スト

右巡按使ノ希望ハ恐ラク彼カ袁ノ生命危篤ナルノ報ニ接シ將來各省箇々獨立ノ姿トナルヲ予想シタル結果自家ノ安全ヲ希望シ最モ信賴シ得ヘキ帝國政府ノ力ニ之ヲ托セント欲シタルモノナルヘシト信ス

本職ハ未タ此ノ希望ニ對シ回答ヲ為ササルモ今ヤ北京天津ニ於ケル外人ノミナラス天津ニ於テハ巡按使スラ日本ノ増兵ヲ希望セルコト明カナルヲ以テ本職ハ此機會ニ於テ當駐屯軍ノ兵力ヲ増加シ機ニ應ジテ我勢力ヲ扶植シ得ルノ準備ヲナシ置クハ極メテ機宜ニ適シタル処置ナリト信ス殊ニ今ヤ袁既ニ死シタルヲ以テ我増兵ハ南北妥協ノ口實ニ供セラ

ル、ノ恐モナキナリ
以上ノ如キ状況ナルヲ以テ至急我駐屯軍ニ少ナクモ歩兵一聯隊ヲ増加スルヲ希望ス但シ之ヲ實施ノ場合本職ニ於テ巡按使ノ依頼ニ對スル十分ノ保証ヲトルハ勿論ナリ右意見具申ス

尚仏國軍司令官ハ田中中佐ヲ通シテ仏國軍ハ現鐵道守備區域ノ掩護ニ對スル力足ラサルヲ感スルニ付該守備ヲ他ノ國

尚本使ハ大總統選舉法第十一条ニ依レハ大總統事故ニ依リ職ヲ去リタル場合ハ三日以内ニ大總統臨時選舉會ヲ組織ス云々ノ規定アルガ果シテ此手續ヲ履行サルルヤト問ヒタルニ目下我國ハ御承知ノ通り特別ナル狀態ノ下ニアルヲ以テ今回ハ右ノ如キ手續ヲ履行スル能ハス黎副總統ハ既ニ本日午前十時東廠子胡同ノ副總統官邸ニ於テ就任式ヲ挙ケタルカ多分此時局カ何レニカ片付ク迄當分大總統ノ職權ヲ代行スル外ナカルヘシト云ヘリ

一七九 六月七日 在天津松平總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱ノ死去ニ関スル天津地方新聞論調ノ件

第六五号

袁世凱ノ死去ニ関シ六月七日当地新聞ノ論調中大公報ハ袁ノ死去ハ愕キト欣ヒヲ以テ迎フヘシト冒頭シ袁個人ノ行為ハ姑ク論セス只國家元首ヲ尊重スルノ意味ニ於テハ哀悼ノ意ヲ表セサルヘカラサルモ袁ノ死ハ民國四年間苦心經營ノ功ニ優ルコト万々ニシテ民國ノ為ニ大ニ喜ハサルヘカラス即チ袁ノ死去ハ約法ニ拠リ黎元洪ヲ大總統ニ就任セシムルコト、ナリテ南北和協ノ希望ヲ齎ラシ黎段南方諸省ト協力

ニ依頼シタキヲ述ヘタリ而シテ同軍ニ比較的兵力ニ余裕アルハ米國ニシテ若シ仏國ノ担任區域ヲ占領スルカ如キコトアラハ之ヲ我國ノ手ニ収ムルコトハ困難ナルヘシ故ニ帝國ハ兵力ノ余裕ヲ有シアリテ機ニ應シ勢力圈ノ擴張ヲ図ルコト必要ニシテ此レ亦増兵ノ必要ノ一理由ナリ

一七八 六月七日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱逝去ニ對シ正式ニ弔意表示並黎大總統ノ職權代行ニ関シ曹外交總長談話ノ件

第五二七号

六月七日当地外交團ニテハ首席公使ノ通知ニ依リ各自外交總長ヲ訪問シ正式ニ弔意ヲ表スル事トナリタルヲ以テ本使モ午後三時曹總長ヲ往訪シ改メテ鄭重ナル弔辭ヲ述ヘタル後葬式等ノ事ニ関シ尋ネタル所初メテノ出来事ニテ前例ノ抛ルヘキモノナキ故目下折角諸事打合せ準備中ナリ今夜十一時家族親戚及各部總長立會ノ上入棺式ヲ行フ筈ナリ棺ハ袁總統生前既ニ河南ノ鄉里ニ準備シアリタルモノヲ取り寄セタルナリ半旗ノ礼ハ六月六日ヨリ起リ二十七日間挙クルコトニ決定シタルモ葬送ノ日取り等ハ全然未定ナル旨答ヘ

セハ國家ヲ維持スルニ足レリ此際唯一ノ緊要事ハ北方ノ治安ヲ維持シテ國權ヲ喪失セサルコトナリト云ヒ又劉揆一ノ主持スル公民日報ハ一頁天下ノ安危ヲ繫クモノハ袁世凱之ナリ袁ノ死ハ万事ヲ解決シタルモノニテ極端ニ袁世凱ニ反對シタルモノモ又極端ニ袁世凱ヲ擁戴シタルモノモ共ニ其ノ目的物ヲ失ヒタリ而シテ失フヘカラサル中華民國ハ黎元洪ノ果毅ノ力ヲ以テ段祺瑞ノ賢明有為ノ才ト提携セハ千鈞一髮ノ國家ヲ維持スル難キニアラス要ハ和衷協同ニ在リト結ヒ黎ノ就任ヲ歡迎シ其他ノ新聞ハ簡單ニ袁ノ逝去ヲ伝フルノミ又北京天津「タイムス」ハ袁ノ死ヲ以テ支那内乱ノ平和的解決ニ對スル重ナル故障ヲ除去セルモノト論シ黎元洪ハ國民ノ多数ヨリ尊敬信用セラル、ニ付支那ヲ統一スル上ニ於テ成効スヘシト云ヒ尚其ノ張勳ノ手兵カ宣統帝復辟ノ為入京シタルコトヲ以テ危險ノ狀態ト認メ又袁世凱ノ衛兵カ袁ノ遺子ヲ擁立セシコトヲ努ムルヤモ計ラレザルガ此等ノ計畫ニ對シテハ段祺瑞ニ於テ新大總統ヲ援助シテ打破スヘキコトヲ希望シ最後ニ列國カ黎元洪ノ就任ヲ速ニ認ムルノミナラス精神上ノ援助ヲ与ヘ以テ無政府狀態ヲ除去セシコトヲ望ミ居レリ

一八〇 六月七日 在上海有吉総領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局ニ関シ唐紹儀孫文張繼等会合ノ件

第一六五号

袁大總統病死ノ報ハ寧ロ甚タ突然ニシテ中外人一般ニ驚愕ノ念ヲ以テ迎ヘラレタルモノノ如ク排袁派側ニ於テモ今後ノ方針ニ付最寄り最寄りニ集会シ協議シ居レルモ未タ一定ノ成案ヲ得ザルモノト認メラレ今朝モ唐紹儀、孫文、張繼其他ノ会合アリ本日午後ハ旧国會議員ノ集合アル筈ニテ右各方面ノ情報ヲ綜合シテ彼等ガ黎元洪ノ大總統タルニハ固ヨリ異議ナキニ一致シ居ル模様ナルモ黎ガ段祺瑞等ニ擁セラレ空権ヲ握ルニ止マリ南派ノ意志ヲ尊重セサルヘキヲ虞レ少クトモ護国軍ノ有力ナル部隊ヲ北京ニ入ルルカ乃至黎元洪ヲ南方ニ迎ヒテ軍務院ヲ改メテ内閣トスルヲ可トスルノ説ヲ為ス張繼、谷鍾秀等アルモ之ヲ実行シ得ヘキ何等成案ヲ有スルニアラス且彼等ハ黎元洪ニシテ段内閣ヲ認ムルニ於テハ之ニ反対スル理由ナキニハ当惑シ居ルモノト察セラレ唐紹儀孫洪伊等ハ段内閣ヲ認メ漸次地歩ヲ進ムルノ外ナキヲ感シ居ルモノノ如ク湯化竜等モ亦略ホ同一ノ意見ト

黎元洪ニ於テ人心ノ收攬政府ノ威信保持ノ為

五千万元借款方依頼ノ件

坂特電第六十六号

黎元洪本日本在北京高等文武諸官ヲ引見シ就任式ヲ行ヘリ右終リタル後黎ノ近侍者特ニ小官ヲ訪ヒ黎元洪ノ依頼ナリトテ語ルコト左ノ如シ
從來ヨリ屢々御依頼シ置ケル如ク人心ヲ收攬シ政府ノ威信ヲ保ツ為先ツ五千万元ノ借款ヲ必要トスルニ付貴官ヨリ貴国公使ニ其旨ヲ伝ヘ有力ナル援助ヲ与ヘラレタシ之カ為必要ナル条件ハ提供スヘキモ只財政監督ト云フコト丈ケハ少シク困マル云々依テ小官ハ直ニ之ヲ我公使ニ伝ヘ公使ヨリハ單ニ貴意ヲ諒シ其旨ヲ本国ニ打電シ可成依頼ニ添フ如ク尽力スヘシトノ挨拶ヲナセリ

一八二 六月八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎元洪ハ上海ノ唐紹儀、孫洪伊等ニ対シ来京ヲ促シタル件

第五二八号

本使發上海宛六月八日第七一号

見ルベク彼等ハ猶何レモ馮国璋ニ多大ノ重キヲ措キ同人ヲ自派ニ誘フノ要ト少クモ張勳ハ之ヲ排斥セサルヘカラサルトセル者多数ナルカ如ク結局穩和派ノ意見多キ模様ナリ宗社党ハ鄭孝胥(?)、李經邁、姚文藻等馮国璋ヲ通シテ運動ヲ為サントシ胡嗣瑗今朝南京ニ向ヘル趣ナルモ到底勢力ヲ為シ得ヘシトモ認メラレス一般商民ニアリテハ袁ノ死去ハ時局ノ解決ヲ速カナラシムヘシトノ希望ヲ有セルモノ尠カラサルカ如ク市場等ニハ猶格別ノ影響ナク英字新聞中「デリー、ニュウス」ハ袁ノ徳ヲ称ヘ特ニ英人痛惜ノ意ヲ表シ排袁派ノ反省ヲ促シ「タイムズ」ハ寧ロ袁ヲ非難シ且將來ニ危惧ノ意ヲ表シツツアリ漢字新聞中御用紙亜細亞日報、神州日報ハ未タ喪ヲ發セス中華新報其他排袁派ハ何レモ喜色アリ就中華新報ハ内閣ヲ一律解散シ臨時弁事機關ヲ設ケ国会ヲ開キテ法ニ依ツテ内閣ヲ組織スヘク護国軍ハ国都ヲ肅清シ黎大總統ノ行動ヲ自由ニシ帝政派ノ余孽ヲ掃除スルノ要アリト彼等一派ノ過激論ヲ稱ヘツツアリ不取敢在支公使ヘ電報セリ

一八一 六月七日 在北京坂西陸軍大佐ヨリ
田中參謀次長宛(電報)

六月七日郭同ハ黎元洪ノ内旨ヲ奉シ我カ陸軍武官ヲ介シ貴地唐紹儀、孫洪伊等ヘ宛黎總統ノ就任ニ就テハ前總統遺令ニ於テ新約法ニ拠ルモノトアルモ黎就任ニ際シテハ其何ノ約法ニ拠ルヲ明言セズ唯國務員ノ多クハ新約法説ヲ主張スルモ黎總統固ヨリ然リトナサズ現在行政機關回復スルモ根本大法未タ理ニ合ハザルニ属ス故ニ諸職司正ニ協議中ニアリ而カモ在京ノ同志甚タ少シ少数有力者ヲ上海ニ止メ諸同志ノ速ニ来京シ以テ贊襄ニ便ニセンコトヲ請フ旨打電セリ御參考迄ニ
外務大臣ニ転電セリ

一八三 六月八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱逝去ニ対処スベキ善後策ニ関スル日本公使館ノ會議ニ米国公使ノ出席セザリシ事由
回申ノ件

第五二九号

貴電第二〇四号六日朝ノ当館會議ニ米国公使ノ臨席セザリシハ同公使ガ恰モ避暑不在ナリシカ為ナリ尤モ同公使ハ在京セシトモ或ハ共同行為ニ参加セザリシヤモ計ラレズ元来

六日朝会議ノ際ニアリテハ段政府カ果シテ黎ヲ推戴スヘキヤ否ヤモ明カナラザリシノミナラズ寧ロ之ヲ排斥スルノ挙ニ出デザルヤノ疑モナキニアラザリシヲ以テ列国使臣ノ意志ノ在ル所ヲ明白ニ通シ機先ヲ制スル為急速ニ活動ノ必要ヲ認メタル次第ノ処當時英仏公使ハ敵国公使ト共同動作ヲナスコトノ絶対ニ不可ナルヲ主張シ又英國公使ハ中立国ノ公使ト協同スルコトニハ反対ナキモ西班牙、墨西哥等ノ代表迄モ引纏ムルニハ非常ニ時ヲ要スヘシト云ヒ結局中立国ノ加入ハ拒絶セサルモ先ツ聯合國丈一団トナリ行動ヲナスコトニ申合セタル次第ナリ

米国公使ノ共同行為ニ加ハラサリシハ事實其ノ不在ナリシト前記申合ヲ其ノ代理者ニ通スルノ暇ナカリシヲ以テ其ノ代理者ノ加入モナカリシ次第ナリ將又米国公使ハ此際別ニ独立シテ反対ノ行動ヲ執ルベシトハ考ヘラレズ袁ニ代リテ黎ノ出ヅルコトハ予テノ談話中ニ於テ其ノ異議ナキコトヲ洩ラシ居レリ從テ米國ハ政事方面ノ關係ニ於テハ別段目覺シキ行動ヲ執ルベシトハ考ヘラレザルモ借款問題ニ付テハ彼等ニ於テ自ラ相当ノ計畫ト腹案トヲ有スルニアラズヤト考ヘラル、節ナキニアラズ現ニ先頃會議ノ折ニモ Reinsch

一八四 六月八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

新大總統就任及旧大總統国葬ニ関スル大總統
申令發布ノ件

第五三〇号

六月八日政府公報ニ新大總統就任及旧大總統国葬ノ件ニ関シ左ノ通六月七日附大總統申令ヲ發表セリ

其ノ一 元洪本月七日大總統ノ任ニ就ケリ自ラ德薄キヲ思ヒ誠ニ以テ兢々タリ只法律ヲ遵守シ共和ヲ鞏固ニシテ法治國ヲ造成セシコトヲ期スルアルノミ官吏士庶冀クハ夫レ此ノ意ヲ体シ其ノ及ハサル所ヲ正サンコトヲ是レ予ノ厚ク望ム所ナリ茲ニ令ス

其ノ二 目下時局極メテ危シ本大總統俄カニ重任ニ当ル汎百ノ政務尽ク整理ヲ要ス内外ノ文武官吏ハ總テ旧ノ如ク奉職シ共ニ時艱ヲ救フヘシ決シテ觀望推移ノ念ヲ起ス勿レ茲ニ命ス

其ノ三 辛亥ノ役民国創立サレシヨリ前大總統共和ヲ賛成シ大局ヲ定メ苦心經營朝夕勤勞不幸ニシテ天年ヲ假サス病ニ逢ウテ長逝ス遺囑ヲ追懷シテ海内同シク悲ム本大總統艱

一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一八四 一八五

ハ右ニ対シ目下支那ノ政局極メテ不安定ナル為米國ハ借款ノ商議ニ応ズルコト能ハザル次第ナルモ一旦平和ノ確立ヲ見タル場合ニハ米人モ亦支那ノ借款ニ応スルノ考アルニ付其ノ節ハ米國側ヨリハ日本ニ通知スヘキニ付日本側ニ於テモ米國側ニ知ラセ互ニ嫉妬ノ妨害ヲ加ヘズ共ニ虚心坦懷其ノ利益ヲ増進スル様致シタシト語リタルコトアリ旁目下米國資本家ノ代表者ガ尠カラズ当地ニ來リ居ルニ顧ミ支那ノ時局終結ノ曉ニハ当國金融市場ニ相当米國資本家ノ活動スベキコトハ今ヨリ之ヲ我打算ノ中ニ加ヘ置カザルベカラズト信ズ目下歐洲ヨリ資金ヲ輸出スルコト能ハザルコトハ当地公使ニ於テモ疾ニ明言シ居ル所ナルモ目下東洋ニ在ル英仏銀行ノ手許ニ所有スル資金丈ハ之ヲ支那ヘ融通スルコト不可能ニアラズトナシ尚多少ノ投資金力アルコトハ之ヲ言明シ居レリ併シ目下ノ場合日米兩國ハ最有利ノ地位ニアリト考ヘラルルニ付日本ガ此ノ際事實ニ於テ支那借款ノ大部分ヲ引受ケ財政上ニ於テモ我優越ノ地歩ヲ確立シ置クコト必要ナルヘク此ノ事モ英仏公使等ハ略ホ自然ノ趨勢ト了解シ居ルモノト解セラル

註 日置公使來電第五〇九号(一六二文書) 参照

難ヲ共ニシ悼痛最モ深シ喪葬ノ典禮ハ当ニ國務院ヨリ各事務官ニ命シ中外ノ典章ヲ參酌シテ極力鄭重莊嚴ナルヲ期シ以テ國家力德ヲ崇メ功ニ報ユルノ旨意ニ添フヘシ茲ニ令ス右申令大要在支各領事香港ニ転電セリ

一八五 六月八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎總統ノ個人的代表トシテ來訪セル總統使者

ニ対シ日中親交確立方ニ関スル訓令ノ趣旨ヲ
詳説及三千万円借款問題等ニ付会談ノ件

第五三七号

貴電第二〇〇号ニ関シテハ黎總統就任勿々未タ外交團ノ正式謁見モ無之ニ本使独リ拔駟會見スルハ外間ノ疑惑ヲ招ク虞アリト考ヘラレタルニ付往電第五三六号ノ使者來リタル節同人ニ一応御訓令ノ次第ヲ伝ヘ更ニ船津書記官ヲシテ内謁ノ上親シク黎總統ニ伝ヘシムル事ニ決シタル所黎ノ使者劉鍾秀(我商船学校卒業ニテ十余年來黎ノ秘書役ヲ勤メ居ルモノ)ハ六月八日午後一時本使ヲ來訪シ先ツ黎元洪一個入ヲ代表スル資格ニテト前提シ是迄帝國政府ヨリ蒙リタル同情及ヒ今回黎總統就任前後ニ於テ暗黙ノ間ニ与ヘラレタ

ル多大ナル御援助ヲ感謝シ併セテ将来ニ於テモ一層ノ御助力ヲ得度旨ヲ述ヘタルニ付本使ハ之ニ對シ相当ノ挨拶ヲナシ引続キ貴電第二〇〇号ノ趣旨ヲ詳細説明シ終ルヤ彼ハ昨日坂西大佐ヲ通シテ申入レ置キタル三千万円借款ノ件是非共御配慮願度旨申出デタルニ付坂西大佐伝達ノ次第ハ早速本國政府ヘ電報シ置キタルモ元来斯カル大借款ヲ纏ムルニハ仲々容易ナラザル手数ヲ要スルモノニテ支那側ニ於テモ之レヲ正式ノモノトスルニハ責任アル財政總長ヨリ申出デラルベク当方ニ於テモ或ハ銀行団ト協議ノ上協同ニテ引受クルコトトナルヤモ計リ難ク何レニシテモ急速ニハ運バザルモノト御承知アリタシト申聞ケタル所進テ正式ノ申込ヲナスベキモ其ノ場合ニハ十分御尽力相成様大總統ヨリ前以テ願ヒ置ク次第ナリト云ヘリ

依テ本使ハ帝國政府ハ黎總統ノ就任ヲ歡迎シ深甚ナル同情ヲ寄スルモノナレハ黎閣下ノ政府ニシテ誠意誠心日支ノ親善ヲ計リ我ニ信賴シテ庶事打解ケ相談セラル、ニ於テハ帝國政府ハ喜ンテ援助ヲ与フヘク本使モ其趣旨ヲ体シ努力スヘキハ勿論ナルコトヲ承知セラレタシト述ヘ何故ニ日支ノ國交力從來一般ノ希望スルカ如ク円満ナラザリシヤ將又如何

タル次第ナルモ是ハ明カニ南方派ノ主張ニ反シ謂ハバ一部ノ民意ヲ無視スル詆ナレハ黎ノ立場トシテハ此際之ヲ明言スルコト不得策ナルノミナラス新約法ニ拠レハ大總統選舉會ヲ組織スル必要アルモ目下立法院ハ未タ成立セス參政院モ今ヤ殆ト有名無実ノ姿ナレハ到底実行不可能ノコトニ属ス故ニ黎總統就任前新旧何レノ約法ニ依リテ就任スルヤノ議論起リシニ段祺瑞ハ黎ノ意向ヲ酌ミタルニヤ新旧ノ區別ヲ詮議スルニ及ハス兎ニ角就任シテ大總統ノ職權ヲ執行セハ可ナリト主張シタル由ニテ其ノ辺ニ関シテハ今尚殊更ニ曖昧ニ附シ居レリト云フ

三、六月七日就任宣布ノ申令中最初ハ責任内閣云々ヲ述ベ極メテ長文ナリシモ黎カ責任内閣制ハ未タ何等拠ルヘキ法律ナキ故此際公式ニ其ノ事ヲ云為スルハ不都合ナリトテ反駁セシヨリ全然之ヲ削除シタル為斯クハ簡短ナル申令トナリタル由ナリ

註 一七 一文書

一八六 六月八日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

中国ノ財政整理問題ニ関スル各國公使ノ意見

一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 一八六

何ニシテ真ノ親善ヲ實現シ得ルヤヲ詳説シテ今日ハ從來ノ關係一新スルノ好時機ナルコトヲ指摘シ万一此ノ好機ヲ逸スルトキハ臆ラ嚙ムモ及フナキ旨ヲ翻覆説明シテ其ノ注意ヲ促シ置ケリ劉ハ黎總統ハ嘗テ日本ニ留学シタルコトアリ日本ノ事情模様等承知シ又東洋ニ於ケル日支ノ關係カ如何ナル状態ナルヤモ充分心得居ルコト故今後日支ノ親善提携ニ関シテハ極力尽瘁スル所存ナル旨ヲ特ニ閣下(本使)ニ伝フル様申付ケラレタリト述ヘ尚貴電第二〇〇号末段及貴電第二〇五号ニ関シテハ劉ノ語ル処大要左ノ如シ

一、新内閣組織ノ話ハ未ダ問題トナリ居ラザルモ六月六日黎總統ハ唐紹儀、伍廷芳、孫洪伊、張謇、李經義、王家襄、趙爾巽、汪大燮等其他多數ノ南方知名ノ士ニ打電シテ來京ヲ求メ時局收拾ニ関シ其援助ヲ依頼シタルハ事實ナリ去レハ前記諸名士將來北京ニ來集スルコト、モナラバ自然内閣改造ノ問題モ起ルヘシト信セラル尚ホ張謇、趙爾巽、李經義、徐世昌ノ四人ニ對シテハ黎總統ヨリ總統府最高顧問タルコトヲ依頼セリ

二、今回黎總統ノ就任ニ関シ袁總統ノ臨終ノ際確ニ約法第二十九条ニ拠ルコトヲ明言シタルニ付遺令ニハ其旨明記シ

報告ノ件

第五三九号

今後ニ於ケル支那ノ財政整理ニ関シ各國公使ノ意見ノ一致スル点ハ(一)新ニ支那ニ借款ノ必要アルコト(二)其額凡ソ六七千万乃至一億弗ナルヘキコト(三)歐洲ニテ募債スルノ不可能ナルコト但若干額ハ東洋ニ於ケル歐洲諸銀行ニ依リ調達セラレ得ルコト(四)財政監督ノ方法ヲ設クルコト等ナルガ英仏白等ノ公使カ米國ヲ聯合側ニ引入ル、コトヲ以テ得策トナスノ一事ハ近來ノ一新現象ニシテ注意ニ値スベク且其可否ニ関スル帝國政府ノ意見ハ本使ノ早速承知致シ度キトコロナルガ英國公使ノ語ルトコロニ依レハ支那財政整理ニ米國ヲ誘引加入セシムルコトヲ得策トスル義ニ関シ「グレー」氏ヨリ帝國政府ヘ交渉アリタリトノコトナルガ其顛末モ併セテ承知シ置キ度シ尚英ト云ヒ仏ト云ヒ從來米國ヲシテ支那問題ニ容喙セシムルコトヲ快シトセサリシニ近來ニ至リ急ニ符ヲ合ハスル如ク打揃ツテ態度ヲ一変スルニ至リタル理由ハ判明セザルモ一方ニ於テハ歐戰終局後ニ於ケル經濟上ノ損益決済ノ場合ニ米國市場ノ支配ヲ受クルニ至ルヘキ關係ヲ顧慮スルト同時ニ他方ニ於テ目下

一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一八七 一八八

支那ノ大借款ニ応シ得ヘキモノハ米國ノ外ナシトノ考ニ出
テタルモノカト考ヘラル英仏公使ノ唱フル処ニ依レハ今
ニシテ米國ヲ聯合國側ニ引入レ置カザレバ他日米獨ノ聯合
ヲ見ルノ虞アリト云フニアレドモ是果シテ真ノ理由ナルベ
キカ或ハ邪推ニ亘ル嫌ナキニアラザルベキモ依テ以テ日本
ノ独占的地位ヲ牽制セントスルニアリト云フモノアリ是レ
穴勝無稽トハ謂ヒ難カルベシト考フ日米國交ノ關係上日本
單獨ニテ米國ノ支那問題ニ干与スルコトヲ排除セントスル
コトハ得策ニアラザルヘシトハ考フルモ各國公使ト応答ノ
都合モアルニ付此点ニ関スル帝國政府ノ御意向至急御電示
ヲ請フ尚支那政局ノ現状ニ顧ミ種々各國公使其他ト臨機ニ
応答スヘキ問題モ尠カラサルコト故帝國政府ノ方針ハ成ル
ヘク早メニ本使ニ於テ承知シ置クノ必要アルニ付此点特ニ
御含置キヲ請フ

一八七 六月八日 在肇慶太田領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎元洪ノ時局收拾ニ関シ訓令執行ノ為岑春煊

ト面談シタル件

第六二号

國共和ノ前途慶スヘシト説キ其影響ニ関シテハ未タ多ク評
論スル所ナカリシモ独リ七十二行商報ハ總統既ニ定マレハ
袁ノ死亡ニ依リ別問題ヲ生スヘカラスト題シ大要別電ノ如
キ論説ヲ掲ケタリ

(別電)

六月八日在広東赤塚總領事宛石井外務大臣宛電報「七十
二行商報」掲載評論大要

第一七七号 別電

袁世凱ノ死亡ハ共和ノ恢復ヲ速カナラシムル天佑トシテ大
ニ憚フヘキモノナリト雖最近ノ政事現象ハ南京會議或ハ上
海ニ於ケル国会議員ノ集合等野心家ノ運動ト見ルヘキモノ
アリ俄ニ安心スヘカラサルモノアリ即チ北方ノ勢力家ハ黎
元洪ハ獨立四省ノ推戴ニ基クモノナレハ別ニ各省ヨリ總統
ヲ選舉スヘシト主張シ袁世凱ハ曾テ此ノ義ヲ以テ野心家ニ
其ノ位ヲ讓ラントセリ今日馮國璋段祺瑞ハ必ス其ノ遺策ヲ
執ルヘシ又上海議員側ハ大總統ハ約法ノ規定ニ依リ国会ヨ
リ選舉スヘシト主張シ居ルモノニシテ二者共ニ大總統ノ選
挙ヲ利用シ各々野心ヲ遂ケントスルニ至リテハ其ノ揆ヲ一
ニス即チ黎元洪ハ獨立四省ノ推戴ニ基キ始メテ繼任スルモ

一一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一八九

一四八

貴電第三九号ニ関シ本日岑春煊ニ面会ノ上申通シタル所岑
ハ帝國政府ノ意思ノアル所ヲ諒トシ且自分モ支那ノ平和ハ
衷心希望スル所ナルヲ以テ若シ黎大總統ノ組織スル新政府
ニシテ誠意時局收拾ニ努ムルニ於テハ自分モ之ニ賛成スヘ
ク但シ黎元洪ハ只大總統ノ空名ヲ擁シ何者カノ傀儡タルニ
過キス共和ノ実挙ヲサルニ於テハ更ニ又之ニ対スル方策ヲ
講スル必要アルヘク目下如何程迄黎大總統カ自由ニ政局ニ
当ルコトヲ得ルカラ暫ク見ント欲スト語リ尚本官ニ対シ黎
元洪執政ノ実状ニ関シ北京ニ問合セ方依頼セリ

一八八 六月八日 在広東赤塚總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

袁世凱死去ニ関スル広東地方新聞論調ノ件

別電 同日在広東赤塚總領事宛石井外務大臣宛電報第

一七七号

「七十二行商報」掲載ノ袁死去ニ関スル評論大要

第一七六号

袁世凱ノ死亡、黎元洪ノ大總統繼任ニ対シ一般市民ハ平和
ノ克復共和ノ回復速ニ来ルヘキヲ喜ヒ当地一般新聞ハ本日
ノ紙上ニ於テ袁賊天誅ヲ受ケ退位ニ及ハスシテ先ツ死ス民

ノニアラスシテ実ニ約法ノ規定ニ從ヒ当然繼任スヘキモノ
ナリ又国会ハ成程大總統ヲ選舉スル権能ヲ有スルモ約法ニ
依リ正当ニ繼任スル黎元洪ノ總統ヲ取消スノ権能ナキモノ
ニシテ吾人ハ共和国ノ大總統ハ法規ノ範圍ヲ離レテ猥リニ
産出スヘキニアラサルコトヲ念慮トスルニ於テハ斯カル議
論ハ之レヲ生スル余地ナキモノト信ス云々
北京へ電報セリ

一八九 六月八日 石井外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛(電報)

中国ガ塩税剰余払渡ノ請求ヲ銀行団ニナス筈

ニ付日本ニ於テモ同意アリタキ旨曹外交總長

申出ノ件

第二三三号

六月六日曹外交總長ハ日置公使ニ対シ軍隊支払等ノ為メ資
金ノ調達方焦眉ノ急ニ迫リ居ルガ故ニ何レ支那政府ヨリ正
式ニ塩税剰余払渡ノ請求ヲ銀行団ニ為ス管ナルガ黎元洪カ
大總統ニ就職シ南北融和モ実現スヘキニ付右払渡ニ対シ南
方側ヨリ別段故障モ有ル間敷然ルニ軍隊動揺ノ機ハ刻々迫
リツ、アルコトナレバ危局ヲ救フ応急ノ処置トシテ日本ニ

一四九

於テモ之ニ同意セラル、様懇望ニ堪ヘスト申出タル由ニテ
同公使ヨリ請訓シ来リタルニ付別電第二三四号ノ通り回訓
シ置ケリ御參考迄
右在仏露公使ニ転電アリタシ

一九〇 六月八日 石井外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

黎元洪政府ニ資金融通ノ場合ニハ日本政府ハ
列国ト共ニ又ハ単独ニテ右資金貸与ノ意嚮ナ
ル旨回訓ノ件

第二〇七号 極秘至急

貴電第五一三三号ニ関シ貴官ノ執ラレタル措置ハ本大臣之ヲ
承認ス尚此際關係列国ニ於テ黎ノ政府ノ懇請ニ基キ資金融
通ノ場合モ生スルニ至ラハ帝國政府ニ於テモ列国ト共ニ右
資金貸与ニ加入スルコト、シ差支ナキ意嚮ナルモ歐洲時局
ノ關係モアリ目下ノ処列国ニ於テモ巨額ノ融通ハ困難ナル
ヘシト思考セラル、次第ナルカ往電第二一〇〇号ニヨリ貴官
ニ於テ黎元洪ニ申入方取計ハレタル上黎ニシテ当方ニ依頼
スルノ意嚮明ラカナルニ至ラハ帝國政府ハ黎ノ任命スヘキ
政府ニ對シ約二千万円迄ハ資金ヲ貸与シ差支ナキ内意ニテ

其用意モ為シ居ル次第ニ付右貴官限り極秘トシテ御含置ア
リタシ尚右我方ヨリ単独ニ資金融通ノ場合ニハ五国団規約
ノ關係上議論ヲ生スルカ如キコトナキ様措置ヲ講シ置クコ
ト必要ナルニ付其辺可然御含アリタシ

一九一 六月九日 石井外務大臣ヨリ
在中國各總領事、領事(香港ヲ含ム)宛
(電報)

日本政府ハ黎大總統ヲ支持援助スル方針ナル
件

今回黎元洪大總統トナリタルニ付帝國政府ニ於テハ黎ヲ援
助スルノ意向ヲ有シ尚其組織スル新政府ニシテ国内秩序ノ
回復竝日支親交ノ確立ヲ期図スルノ誠意有リト認メラル、
ニ於テハ直接間接之レヲ支持援助スルノ方針ナルニ付右内
密御含アリタシ

一九二 六月九日 石井外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

北京駐屯日本軍ヲ定員迄増加及天津ヘハ旅順
ヨリ五百名派遣ニ決定ノ件

第二一〇号 至急

貴電第五〇九号末段ニ関シ帝國政府ニ於テハ此際天津ヨリ

約百五十人ノ兵員ヲ貴地ニ派遣シ以テ北京駐屯日本軍ヲ定
員マテ増加スルコトニ決定セリ尚天津ノ守備ニ付テハ松平
来電第六四号ノ次第モ有之コト故旁々差当リ別ニ旅順ヨリ
至急約五百人ノ兵員ヲ同地ニ派遣スルコトニ決定シタルニ
付是亦御含アリタシ

一九三 六月九日 在上海有吉總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

張繼ノ北上勸告ニ関シ報告ノ件

第一六七号

(張繼ノ北上勸告方)

貴電第六九号ニ関シ七日前唐紹儀宅ニ於ケル有力者ノ会合
ニ於テ唐ハ猥リニ北方ヲ疑フノ不可ナルヲ説キ自カラ進ン
テ北京ニ赴キ意思ノ疏通ヲ図ルヘキ旨申述ヘタルモ多数ハ
尚早若クハ不可トセルヤニ聞及ヒタルニ付張繼ハ露骨ニ勸
告ヲ試ムルモ如何ト考ヘ昨八日南方ヨリ来レル文群同伴来
訪ノ際先ツ貴電御来示前段ノ趣旨ヲ申述ヘ更ラニ其ノ意嚮
ヲ探リタルニ異論ナキハ勿論之レニ援助ヲ与フヘキハ申迄
モナキモ大總統申令ハ兎モ角國務院令迄カ何レモ新約法二
十九条ヲ援用シテ黎元洪ヲ代理大總統ト認メタルヲ目シテ
甚シキ間違ナリトシテ態々持參セル兩約法ヲ示シ斯ノ如ク

シテ今後新約法ヲ乱用シ違法ヲ働クノ素地ヲナスモノト認
メ段内閣ノ真意ノ疑フヘキ立証トシテ日本及列国ノ此点ニ
留意セラレンコトヲ希望スル旨申述ヘタルニ付本官ハ袁大
總統力其ノ申令ニ新約法ヲ援用セルハ勿論國務院ト雖苟ク
モ其ノ元首カ發布シ現ニ認メラレ居ル新約法ニ依ルノ至当
ニシテ其ノ手続ノ当否ハ之ヲ置キ既ニ一旦元首ニ於テ廢棄
セラレタル旧約法ヲ相当ノ手続ヲ經スシテ復活スルノ理由
ナキヲ指摘シ其ノ改廢ハ別ニ之レヲ要求スルノ合理ナルベ
キモ其ノ述べタルカ如キ主張ハ甚タ當ヲ得ザルベキヲ説示
セルニ彼レモ之レニ首肯シ兎角同志ノ感情ニ流レ易キヲ述
懷シ更ニ一同ニ説明スヘシトシ更ニ段祺瑞ハ兎モ角其ノ内
閣ハ袁ニ依リテ組織セラレタルモノニシテ頼ムニ足ラス而
シテ黎ハ彼等ニ擁セラレテ自由ノ意志ヲ有セザルニ説キ及
ボセルニ付小官ハ之レヲ機會ニ黎ニ直接ノ援助ヲ与ヘ希望
ニ叶フ内閣ヲ組織スルタメニハ南方ヨリ有力ナル人士ノ北
方ニ赴キ親シク其ノ希望ヲ実行セシムルヲ必要トスル旨ヲ
論シ其ノ成敗ハ之レヲ第二トシ先ツ之レヲ試ムルノ黎ニ對
シ親切ニシテ將來万一ノ場合ニ國民及列強ノ同情ヲ博スル
所以ナルヘキヲ説キ此際彼自カラ進ンテ北京ニ赴ク様勸告

セシ所彼ハ当初北方ヨリ南方ニ何人カ代表ヲ派スルノ可ナルヲ説キ実ハ七日唐紹儀宅会合ニ於テ唐ハ小官ト略々同様ノ意見ニテ自カラ北京ニ赴カント迄主張セルモ自分等ハ之レニ不同意ヲ表シ中止トナリタル次第ナリト云ヒ居ルモ最後ニ小官ノ説ニ同意シ唐紹儀ヲ最モ適任者ナリトセルニ付小官ハ唐ノ赴クト否トハ別トシ彼自カラモ北上センコトヲ勸告セル所彼ハ人選ハ兎モ角有力者北京行ニ付本官ヨリ唐ニモ一応面会勸誘セラレ置カレタキ旨申出デタリ依テ本官ハ今朝唐紹儀ニ会见先ツ夫レトナク其ノ意嚮ヲ探リタル所彼ハ有力者北上ノコトハ立消トナリタルニアラズトシ七日会合ノ際ニハ北京ノ情況明カナラザリシモ其ノ後ノ消息ニテ黎元洪モ自宅ニ在リテ相当自由ノ身ナルコトモ確メラレタルニ付昨日ノ話ニテハ多分湯化竜ハ黎元洪ト同郷ニモアリ同人其ノ他二三ノ人北上スルコトナルヘシト申居タリ依テ本官ハ本日尚張繼ニ面会同人モ此際北上スル様勸告シ金ノコト迄話ヲ進メ見ル考ナリ右一応申進ス

北京へ電報セリ

一九四 六月九日

在南京高尾領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾及黎元洪援助方ニ関スル訓令ノ趣旨ヲ馮國璋ニ申入ニ付報告ノ件

第一一八号 至急極秘

貴電第一〇号ニ對シ六月八日馮國璋ニ会见セリ談話ノ要領左ノ通

本官ハ先ツ御訓電ノ次第ヲ詳細陳述シタル後本官一己ノ私見トシテ袁總統ノ薨去ハ真ニ意外ノ出来事ニシテ為メニ或ハ全国ノ動揺ヲ来タスナキヤヲ危ミタレトモ幸ニ黎元洪氏ニ於テ職權代行ノ舉ニ出テタルカ為中央ノ狀態モ先以テ無事ナルカ如ク從テ今後ノ布置如何ニ依リテハ秩序ノ復旧モ蓋シ遠キニアラスト思考セラル貴官ハ南北中間ノ重要ナル地点ニ駐在セラレ中外注視ノ的トナリ其一举一動ハ時局ニ及ホス影響尠カラスト存セラル、ニ依リ此機會ニ於テ我政府希望ノ如ク一切ノ感情ヲ捨テテ極力黎元洪氏ヲ援助セラレ其足ラサルヲ補テ時局收拾ニ努メラルル事刻下ノ急務ナリト信ス從來ノ如ク或ハ親袁或ハ革命ト世人ヲシテ其向背ヲ疑ハシムルガ如キ曖昧ノ態度ハ素ヨリ苦衷ノ存スル所已ムヲ得ズトハ申ラ既ニ隣邦ノ援助ヲモ期待シ得ベキ今日以後ニ於テハ斷シテ不可ナリ宜敷大局維持ノ見地ヨリシテ

旗幟ヲ鮮明ナラシメ自ラ指導ノ任ニ當ラルルコト希望ノ至

リニ耐ヘズ我政府ニ於テ特ニ貴官ニ囑望スル所故ナキニアラズト考フ此際一朝ニシテ事ヲ誤ラバ更ニヨリ以上ノ紛擾ヲ来タシ又收拾スベカラザル事態ヲ惹起スルニ至ルベキハ想像ニ難カラズ然ル上ハ支那ハ遂ニ破滅ノ外ナルカルベシト述ヘ僭越乍ラ御訓電ノ趣旨ニ基キ警告ヲ与ヘタルニ馮ハ貴

國政府ノ御厚意ハ感謝ノ至リニ耐ヘズ又貴官ノ御注意ニ就テモ自分ニ於テ能ク了解セリ実ハ今後ノ時局收拾方ニ付テハ前夜来殊ノ外憂慮シ居リタル所ナルモ只今貴國政府ノ御方針ヲ承リ更ニ一層自己ノ信念ヲ強クセリ即チ自分ニ於テハ飽迄黎元洪氏ヲ援助シ万難ヲ排シテ秩序ノ回復ト大局ノ維持ニ努ムル決心ナルニヨリ幸ニ貴國政府ニ於テ意ヲ安ン

セラル、様貴官ヨリ深厚ナル謝意ト共ニ政府ニ傳達アリタシト述べ次デ本件貴國政府御注意ノ次第ハ張勳倪嗣冲等ニ伝ヘ差支ナキヤト謂ヘルニ付本官ハ政府ノ訓令トシテハ單ニ貴官ニ伝フベシトノ命ナルニ依リ可否ハ答フルノ限りニアラザレトモ貴官自身ノ思付トシテ我方ノ希望ヲ達成セシムル手段ニ善用セラル、ニ於テハ毫モ差支ナカルベクト考フト述べ万一ノ誤解ヲ避クル為メ用意セル貴電ノ要領ヲ

参考迄ニ手渡シタルニ馮ハ極メテ満足ノ意ヲ表シ決シテ貴國政府ニ御迷惑ハ懸ケズト繰返シ之ヲ受納セリ

次テ馮ハ本官ノ問ニ對シ大要左記ノ要領ヲ内話セリ

(一)獨立各省ハ袁ノ薨去ト黎ノ就職ニヨリ既ニ獨立ノ意義ハ消滅セル筈ナルモ未タ何レヨリモ何等ノ通信ニ接セス何レ篤ト研究ノ上取消ノ勸告ヲ試ムル事トスヘシ

(二)北京政府ノ各部長ハ当分現在ノ儘ナルヘク今直チニ拔差ヲ試ムルコトハ不可ナリト信スルモ段祺瑞ノ武斷内閣ニ對シテハ或ハ南方ニ於テ喜バザルモノモアルベシ自分ノ考ニテハ徐世昌カ最モ適任ナラント信ズ同人ナラハ勿論張勳倪嗣冲ノ兩人モ服從スヘク而シテ段ハ軍隊統御ノ為陸軍總長又ハ參謀總長トシテ居殘レバ可ナリ

(三)黎元洪ハ好人物ナルモ威望識見力量ニ於テ袁ニ劣ル事遠シ從テ今後新内閣組織等ノ事ハ到底袁ノ如ク独斷のニ決行シ能ハサルヘキヲ以テ結局各省會議ノ上定ムル事トナルヘシ之ハ一時ハ面倒ナルモ將來ノ為メニハ却テ都合ナルヘシト考フ

(四)倪嗣冲ハ本日漢口ヨリ当地ニ来リ蚌埠ニ向フ管南京會議ノ各省代表ハ昨夜ヲ以テ全部当地ヲ去レリ會議ノ失敗ハ慚

愧ニ耐ヘサルモ今トナリテハ却テ要領ヲ得サリシ丈ケ都合好シ

本官ハ馮トハ多年ノ知己ニシテ一通リ同人ノ性格ヲ承知シ居リ極メテ無邪氣ノ人物ナル丈ケ兎角人ニ担カルル癖アリ油断ハナリ難シ從テ本日ノ約束モ隨時必要ノ監視ヲ要スル事ト存スルカ故ニ北京ノ成行如何ニ依リテハ用捨ナク警告若クハ注文方御電訓相成ル様致タシ序乍ラ申添ユ

一九五 六月九日 在上海有吉總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎元洪大總統就任ニ関スル上海地方漢字新聞

報道ノ件

第一六八号

本日ノ各漢字新聞ニ掲載スル所ニ依レハ黎元洪ヨリ元首病死ノ結果法ニ依リ七日正式ニ大總統ヲ撰任シタルニ付今後百般ノ事ニ付キ教示アリ度旨唐紹儀、康有為、湯化竜ニ對シ夫レ夫レ略ホ同様ノ電報ヲ發シタルガ唐紹儀ハ先ツ黎ガ法定ノ資格ヲ以テ總統ヲ繼承セラレタルヲ喜ビ且民國ハ法ヲ捨ツルコト数年西南ノ義士又法ノ為メニ動キタルモノニシテ法ヲ捨テテ法ナシ依テ民國元年ノ約法ニ依リ至急国会

ヲ召集シ以テ國是ヲ決シ袁氏内閣ノ法律ハ無効タルヘク国会集合前ニ當リ國務總理ハ段祺瑞若シ承諾セハ暫ク同人ニ代理セシメラレタシトノ返電ヲ發シ湯化竜ハ黎法ニ依リ大總統ヲ繼任セルヲ祝シ民國元年ノ約法ヲ回復シ民國二年ノ国会ヲ召集シ内閣ヲ改メテ組織シ政治ノ刷新ヲ計ルコトヲ明示セラレ度旨返電セル趣ナリ

公使ヘ転電セリ

一九六 六月九日 在上海有吉總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

張繼ノ北上勸告ニ関シ続報ノ件

第一七〇号

往電第一六七号ニ関シ本日午後張繼ニ面会シ更ニ勸告ヲ試ミタル処彼曰ク先刻湯化竜宛黎元洪ヨリモ速ニ上海ヨリ人ヲ派シテ万事協議アリタキ旨勸誘電報到著シ旁々明日更ニ有力者会合スル筈ニテ今朝袁死去後初メテ孫逸仙ニ面会セルニ恰カモ唐紹儀ト会見シタル後ニシテ孫モ逐一唐ノ意見ニ同意シ段祺瑞内閣亦可ナリトノ温和說ヲ持シ人ヲ派シテ意見ノ疏通ヲナスコトニモ亦賛成シタリ衆議院ニ右ニ傾キ居ルニ就テハ唐紹儀ハ恐ク動カザルヘキモ湯化竜其他ノ推

薦アルニ於テハ勿論北京行ヲ承諾スヘク自分トシテハ北京ニ知己少ク段祺瑞トハ歷史上今日迄寧ロ敵對ノ地位ニアリ黎元洪モ差シテ昵近ニアラス從テ他ヨリ推薦セラル、望ハ無之モ貴論御尤ニ付自カラ進ンテ北京行ヲ申出テ他ノ同意ヲ求ムル様試ムヘシト快諾セリ尚ホ資金ニ付テハ差当リ不自由ヲ感セス曩ニ申出タル借款モ急ニハ必要ナク北京行ニモ差シタル經費ハ不必要ナリト申居タルニ付小官ハ若シ入用ノ節ハ遠慮ナク申出ヅル様含メ置キタリ尚ホ同人モ唐紹儀ト同シク旧約法ノ復活、旧国会ノ招集ヲ時局解決上尤モ緊急ナル条件ト認メ黎元洪ノ迅速ナル取計ヲ必要トシ右ニシテ実行セラル、ニ於テハ南方各省元ヨリ異議ナシト觀察シ新内閣組織之ニ次テ急ヲ要スヘク右ニハ段祺瑞内閣最モ成立ニ容易ナルヘキモ南方同志ハ北方ニテモ唐紹儀ヲヨリ以上適任者ト認メ居ルモノ尠カラストシ尚ホ少数ナカラ梁啓超ヲ總統タラシムヘク運動セルモノモアリト云ヒ先ツ中央ヲ固メテ以テ張勳以下一部ノ処分ヲナスノ要アリトシ差

当リ成行ニ委スルノ外ナシト申居タリ前述孫逸仙ノ全然唐紹儀ノ意見ニ同意シ極メテ温和說ヲ持シ居ルコトハ張繼モ意外ナリトシ寧ロ喜ブヘキ所ナリトセリ尚ホ同人ハ我邦ヨ

一一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 一九七

リ塩稅残余ヲ交附セラル、ヤノ說ヲ聞ケリトシ今暫ク段ノ態度ノ見留付ク迄ハ右ニ是非差止メラル、様致度キ旨傳達方願出タリ

北京ヘ電報セリ

一九七 六月九日 在英國井上大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

中國時局ト塩稅引渡問題ニ関シ英國外相談話

ノ件

第二六〇号

往電第二五九号談話後「グレー」氏ハ話頭ヲ支那時局ニ転シ昨七日支那公使來訪袁ノ死去ト共ニ黎元洪臨時總統ニ就職ノ旨ヲ公然通告シ同時ニ英國政府ニ於テ新政府ヲ支持セラレタキ本國政府ノ希望ナリト述ヘタルニ付自分ハ支那ニ於テ一日モ速ニ平和秩序ノ恢復セラレンコトハ英國政府ノ夙ニ希望スル処ナルヲ以テ新政府ノ目的ニシテ秩序平和ノ恢復ニアルニ於テハ英國政府ニ於テモ素ヨリ喜ンテ之ヲ支持スヘシト答ヘ置キタリ(不明)袁ノ死去ニ依リ南方ノ故障モ最早ヤ排除セラレ又黎ノ總統就職ハ南方ノ予テノ希望ナルヲ以テ見レハ袁ノ死去ハ時局解決上一ノ端緒ヲ啓キシ

モノト思ハルト語ラレ更ニ語ヲ継キ昨日「ジョルダン」公使來電ニ依レハ北京駐在聯合國側公使ハ此際保留塩稅ヲ支那政府ニ引渡ス方然ルヘシトノ意見ナルカ過日覺書ヲ以テ英國ノ所見ヲ述ヘタル通り塩稅ノ保留ハ法理上改革借款契約ノ違反ニモアリ殊ニ今ヤ新局面ノ出現ヲ見タル今日新政府ニ對シ施政上必要ナル財源ヲ供給スル為ニハ此際可成速ニ之ヲ引渡スノ手段ニ出ツルヲ適當ト認ムト述ヘ支那時局ト塩稅引渡問題ニ関スル石井男外見ヲ拝聽スルヲ得ハ幸甚ナリト附言セラレタリ

各大使濟

一九八 六月九日 在漢口瀨川總領事ヨリ
石井外務大臣宛

袁世凱死去ニ関スル漢字新聞論評報告ノ件

政機密第五六号 (六月十九日接受)

大正五年六月九日

在漢口

總領事 瀨川 浅之進(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

袁大總統ノ死ト漢字新聞ノ評論ニ関シ報告ノ

ナス間々脱待ヲ念ヒタルモノアリシモ今任期満チテ林泉ニ退休ス豈轟ヒ烈ヒノ一不世生ナル英雄ナラズヤ徒ラニ僉王ヲ信任シ帝制自ラ作り未タ九五ノ尊ニ登ラスシテ先ツ漁陽ノ變ヲ招鬱ニ因リテ病ヲ成シ病ニ因リテ逝ク棺ヲ蓋フテ論定マル乃チ操莽ノ遺譏アルヲ免カレズ惜ムベキ哉項城云々

ト更ニ同紙報余欄ニ袁ノ死ヲ吊フト共ニ黎ノ為メニ賀シテ曰ク

嗚呼袁項城死シ黎黃陂已ニ大總統ノ職權ヲ代行ス不謂モ哉南北相待シ最モ力争セシハ總統ノ地位問題ナリ意ニ如是シテ以テ解決ス天下ノ事多ク人ノ意表ノ外ニ出ツ中国ヲシテ果シテ此ヨリ亡ヒシメサランヤ予ハ項城ノ為メニ哭スルヲ禁セス予ハ更ニ黃陂ノ為メニ賀セサルヲ得ス云々

ト同日繼任問題ニ就テ社論中更ニ全国ノ人士血ヲ流シテ遍野ニ争ヒ而カモ解決セサリシ總統問題モ解決シ茲ニ忤忤禁シ難キヲ述ブト漢口新聞報ハ新評論欄下ニ載テ曰ク

天然ノ解決

一人既ニ死シ万国咸ナ膏シ

一一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 一九八

件

袁大總統死亡ノ報ヲ得タル当地各漢字新聞ハ何レモ一面袁氏為人英雄ナリシヲ称スルト共ニ一面時局ヲシテ今日ノ如ク紛糾セシメタル大罪人ナリト怨嗟ノ声ヲ洩ラシ且ツ其死期ハ帝制發生以前ニ非ズンバ寧ロ今後一ヶ月ヲ遲シ袁氏退位後國權ヲ黎ニ譲リ四囲ノ罪人ヲ罰シタル後ナリシナランコトヲ望ミ而シテ袁ノ死ヲ以テ國民ノ幸福ナリト云ヒ反ツテ喜ヒツツアリ最モ助袁派タリシ國民新報曰ク

前大總統去後ノ思

前大總統袁世凱ハ進退狼狽ノ時ニ當リ忽焉トシテ形骸ヲ委脱シテ去ル幸福固ヨリ浅カラズ

惟フニ是レ人生百年会々死アリ袁氏ヲシテ去年ノ今日ニ於テ死セシメンニハ將ニ帝制ヲ見ルニ及ハス緣テ第一屆總統ノ資格ヲ完全無欠ナラシメ歴史上ノ光榮ヲ作ラシメシナラン嗚呼惜ムベシ之ヲ如何セント

中西報時評欄ニ曰ク

吊項城

民國成立シ項城出テ、鉅難ニ膺ル五載以來行政多ク未タ我民ニ適セサルモノアリシト雖モ而カモ國ノ為メニ勞ヲ

袁氏一日去ラサレハ時局一日解決セス一國ノ人民一層ノ苦痛ヲ増シ危險ノ影響更ニ一層ノ区域ニ廓充セン此レ固ヨリ彰明較著ノ事實ニシテ保袁派ト雖モ亦弁シ難キ所ナリ今幸ニ袁氏ニ時ヲ假サス四万万ノ人士多數ノ心力ヲ擧ケテ暫時モ即去セシムルコト能ハサリシ袁氏モ天ハ乃チ之ヲ去ラシム辟歷一声万怪屏息ス是レ黃祖在天ノ靈默シテ呵護セシ結果ニシテ我人民ヲシテ死ヨリ出テ生ニ入ラシメシモノナリ

嗚呼死者ニ知アラシカ九幽十八層ノ冤魂応ニ相共ニ一哭セン嗚呼袁氏ソレ休ヌ云々

ト從來中立的態度ヲ示セル天聲報ニ至リテハ袁世凱死ス民國万歳國民万歳ト大書シ其社説ヲ一日停刊シテ以テ欣幸ヲ示スト掲ケ更ニ革命派機關紙トシテ最近發刊セル國民報ニ至リテハ袁ノ死期當ヲ得サリシヲ述フルト共ニ更ニ四囲ノ惡分子ヲ除外セントシテ曰ク

嗚呼袁世凱ハ誠ニ中国不祥ノ人ナリ其生前ノ失德ハ姑ク具論セス其死ヤ既ニ籌安會發生以前ニ死セス吾國ヲシテ糜爛セシム又義師大勝ノ以後ニ於テ死セス吾國ヲシテ危亡ヲ免カレシメス而カモ乃チ今日ニ於テ死ス謂ク吾國ノ

將來ヲシテ無政府ノ地位ニ陥レシモノト云フベシ夫レ前清ヲ害シタルハ袁氏ヲ以テ渠魁トナス馮國璋、楊士琦、倪嗣冲、張勳、徐世昌、朱啓鈴、孫寶琦等皆袁ニ阿付ス袁氏亡清ノ弊政ヲ襲ヒ卒ニ身敗レ名裂ク袁氏死シテ馮、段、張、倪等各一方ニ抛ル又無恥ノ梁士詒、阮忠樞、段芝貴アリテ内ニ幹旋シ王占元、李純、趙倜等外ニ阿付セシ吾國ソレ寧日アラシヤ然カモ吾國前途ノ計ヲ為ス惟タ除惡務尽之義ヲ秉リテ一切ノ敗類ヲ拳ケテ廓清セハ政治上大ニ光明ヲ放ツノ日アリテ人民幸福ノ期アルベシ此レ記者カ此期ニ於テ民軍ト黎總統トニ望マサルヲ得サル所ノモノナリト

同紙ノ掲ケシ袁世凱ニ對スル贊ニ曰ク

滿清是纂シ民国是叛ス對内則チ殘シ對外則チ譎ル云々当地報界ノ論評叙上ノ如クニシテ是レ元ヨリ死者ニ礼薄キ支那人ノ筆鋒ニヨリテ写シ出サレタルモノナリト雖モ亦以テ一齊ニ其死ヲ弔フテ喜色アルヲ窺知スルニ足ル

右及報告候 敬具

写送付先 在支公使

一九九 六月九日 在天津松平總領事ヨリ
石井外務大臣宛

黎元洪大總統就任ニ関スル漢字新聞論調報告

ノ件

公信第一三八号 (六月十六日接受)

大正五年六月九日

在天津

總領事 松平恒雄(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

袁世凱薨去シ黎元洪就任シタルコトハ当地一般官民ノ歡迎スル所ニシテ六月九日ノ漢字新聞ハ何レモ温厚篤実ナル黎元洪ノ大總統ニ就任シタルハ天下太平ノ兆ニシテ是ヨリ前車ノ覆轍ニ鑒ミ上下一同同舟共濟セハ國家ヲ維持シ国利民福ヲ増進スルコトヲ得ヘシトテ大ニ黎ノ就任ヲ慶祝シ尚ホ從來洋々数百千言ノ繁字ヲ用ヒタル申令ニ反シ劈頭ノ申令ニ法律ヲ遵守シ共和ヲ鞏固ニシ法治國タランコトヲ期スト何等ノ粉飾ヲ用ヒス率直ニ施政ノ方針ヲ宣明シタルハ陋習ヲ打破スル者ナリト歡迎シ居レリ又商業界ニテモ黎ノ就任ハ平和解決ノ第一歩ニシテ黎ハ新政ノ第一着手トシテ兌換

禁止命令ヲ取急キ解除スルモノト忖度シ市面モ稍恐慌ノ度ヲ減シ昨日迄紙幣一元ハ銀八十仙位ノ相場ナリシモ本日ニ至リテハ九十仙位トナリ紙幣ノ信用稍々高マリツ、アリ右及報告候 敬具

写送付先 日置公使

二〇〇 六月十日 在中國日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾及日中親交確立方ニ関スル訓令ノ趣

旨ヲ船津ヨリ黎總統ニ傳達竝同總統ノ談話ニ

付報告ノ件

第五四二号 至急

往電第五三七号ノ通六月九日船津ヲシテ更ニ黎總統ヲ往訪セシメ貴電第二〇〇号ノ趣旨ヲ詳細伝達セシメタル所黎總統ハ昨日劉鍾秀ヨリモ大要承リタルカ只今ノ御話ニ依リ一層明瞭ニ了解シタリトテ帝國政府ノ同情好意ヲ感謝スル旨答ヘタル由依テ船津ハ貴電第二〇〇号末段ノ点ニ関シ黎ノ意嚮ヲ尋ネタル所黎ハ新内閣組織ニ関シテハ未タ何等成案ナシ否今日ノ場合未タ具體的ノ案ヲ作ル能ハス目下折角南方ノ有力者ニ打電シテ其ノ來京ヲ求メ置キタレハ此等カ來

着ノ上今後ノ方針ニ就テ成ルヘク多數人士ノ意見ヲ徴シ先ツ新旧約法何レヲ採用スルヤ及旧國會ヲ復活セシムルヤ否ヤノ問題ヲ決シタル後チニアラザレバ新内閣ヲ組織スル能ハサル様ナリ兎ニ角將來國會ニ對シテ責任ヲ帶フルノ責任内閣制ヲ採用スル外ナカルヘシ何レニシテモ昨日劉ヲシテ日置公使閣下ニ説明セシメタル通自分ハ日支親善ヲ重要ナル信條トナシ居ルヨリ内閣ハ當分ノ間現狀維持ノ外ナキモ將來改造ノ場合ニハ決シテ日本ニ不利ナル人物ヲ用ヒサルコトハ予メ保障スル所ナリト答ヘ船津ガ南方有力者トハ抑々誰ナルヤト切込ミタルニ黎ハ今日ノトコロ果シテ誰ガ北京ニ來ルヲ承諾スルヤ未タ回答ニ接セサル位ナレハ姓名ヲ明示スルコト丈ケハ御免ヲ蒙リタシトテ明言セサリシ(船津カ黎ニ面会前待合室ニテ劉鍾秀ノ語ル所ニ依レハ既ニ二三ノ向ヨリハ回答アリ湯化竜ノ如キ第一旧約法ヲ復活スルコト、第二旧議會議員ヲ復活セシメ至急召集スルコト、第三帝政主唱者ヲ処罰スルコト、第四ハ失念セリ等ヲ先以テ宣布スルコトヲ要求シ來レル由ナリ)又今回ノ就任カ新旧何レノ約法ニ依リシヤハ御承知ノ通新旧何レニシテモ種々ノ故障アリシヲ以テ其辺ハ殊更ニ曖昧ニ附シテ明示セサリ

シ次第ナリト答ヘタリ尚船津ハ此際黎總統ヲシテ十分日支
兩國ノ關係ヲ了解シ袁政府ノ失敗セシ所以ニ鑑ミ今後支那
政府ノ對日方針ヲ一変シ衷心ヨリ日本ニ信頼セシムルコト
必要ナリト思惟シ此ノ点ニ関シ御訓電ノ趣旨ニ基キ反覆丁
寧ニ黎ノ注意ヲ喚起シ日常ニ之ヲ念頭ニ置クコト緊要ナル
ヲ説示シタル処黎ハ日支兩國ハ東洋ニ於ケル二獨立国ニテ
唇齒輔車ノ關係アレハ相互提携扶助セサルヘカラス支那人
ハ動モスレハ日本カ支那ヲ第二ノ朝鮮トナサントノ野心ア
ル如ク疑惧シ其ノ他種々ノ原因ニテ日支ノ關係兎角面白カ
ラサルヲ以テ今後ハ成ルヘク支那ヲシテ右ノ如キ誤解ヲ起
サシメサル様貴国政府ノ御尽力ヲ希望ストテ陳腐ナル支那
式ノ挨拶ヲ為シタルニ依リ船津ハ更ニ支那ハ東洋ニ於ケル
日本ノ実力ト支那自身ノ国情ヲ能ク了解シ万事日本ノ指導
ヲ仰ク心掛アルコト肝要ナル旨露骨ニ説明シタルモ船津ノ
得タル印象ニ依レハ黎ハ此ノ点ニ関シテハ痛切ニ徹底了解
シ居ルヤ稍疑ハシク又仮ニ之ヲ了解シ居ルトスルモ彼ハ果
シテ衆論ヲ排シテモ之ヲ断行スルノ勇氣ト胆力アルヤ頗ル
疑問ナルカ如シ現ニ新内閣組織モ一ニ有力政事家ノ多数意
見ニ依リテ決スル覚悟ナルカ如クナレハ将来唐紹儀、梁啓

利害得失又斯ノ如キ露骨ナル行動ノ黎ノ感情等ニ及ボス結
果等ハ十分慎重ノ考慮ヲ加フベキ筋合ノモノタルハ申ス迄
モナク凡ソ斯ル事ハ結局支那側關係者ニ之ヲ通ズルトスル
モ各方面ヨリ各別ニ行動スルハ頗ル面白カラザルモノアル
ノミナラス本年三月貴電第七六号(三)末段ノ趣旨ニモ副ハサ
ル様存セラル、ニ付テハ對外行為ノ發動ニ関シテハ直接間
接タルトヲ問ハス敵ニ各方面トモ其ノ本分ノ職責以外ニ超
越セザル様中央ニ於テ十分ノ打合アラレンコトヲ希望ス

註 三月七日閣議決定(四七文書)ノ七参看

二〇二 六月十日 在杭州頗上事務代理ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

浙江省獨立政府ハ北京政府ニ對シ黎氏ノ大總
統承認四ヶ条件ヲ電報ノ件

第四一号

六月十日浙江省獨立政府ハ北京政府ヘ向ケ左記四ヶ条ヲ実
行スルニ於テハ黎氏ノ大總統タルヲ承認スヘキ旨電報セリ
(一)各省ニ於ケル北兵ヲ直チニ撤去スルコト(二)速ニ国会ヲ開
クコト(三)帝政主張者ヲ嚴罰ニ処スルコト(四)新約法ヲ廢シ旧
約法ヲ復活セシムルコト

二 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 二〇二 二〇三

超、溫宗堯及国民党一派ノ有力者其ノ他張謇、李經羲等官
僚派ト北京ニ來集シ協議ノ結果内閣ヲ組織スルコト、ナラ
ハ支那ノ政況ハ再ヒ民国元年及二年當時ノ状態ニ逆転シ議
論百出政局益々紛糾シ黎ノ思フ様ニ行カサルヘシト感セラ
レタリト云フ

二〇一 六月十日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

參謀本部ヨリ黎元洪側ヘノ注文又ハ意見吹込

ニ関シ中央ニ於テ善処方希望ノ件

第五四四号

參謀本部ヨリ齋藤少将若ハ坂西ヲシテ過日來内々種々ナル
注文若ハ意見ヲ黎元洪側ニ吹込ミ居リ例ヘハ黎力愈々總統
タル曉ニハ帝國政府ニ於テ財政上ノ援助ヲ与フルニ躊躇セ
ズ且相当ノ額ハ内々準備シ居ル旨ヲ句ハシメタルガ如キ又
昨今ニ至リ齋藤ハ參謀本部ノ内示ニ基キ唐紹儀ヲ國務總理
トナスコトヲ阻止スル為黎側ヘ其ノ旨ヲ通ジタルガ如キコ
ト之レアル処右ハ參謀本部限リノ意見ナリヤ又ハ帝國政府
ニ於テ之ヲ承認ノ上右様ノ行動ヲ執ラシメ居ル次第ナリヤ
時局ノ尚未タ定ラザル今日内閣ノ組織等ノ事柄迄立入ルノ

右条件ヲ実行スル迄ハ浙江省ハ現状ヲ維持スルコトニ決定
セリ

呂都督ハ北京政府ヘ向ケ滬杭鐵道ノ全通及郵便電信ノ回復
ニ付協議ヲ為シツツアリ一兩日中ニハ実行ノ運ヒニ至ルヘ
シト思考セラル
在支公使ヘ転電セリ

二〇三 六月十日 在肇慶太田領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

軍務院幹部等會議ノ結果黎元洪執政ノ真相探

査ノ為北京二人ヲ密派スルコトナリタル件

第六五号

上海ニ於ケル軍務院各幹部委員等ハ唐紹儀ノ許ニ會議シ其
結果軍務院ハ黎元洪執政ノ真相ヲ探查スルタメ先ヅ北京ニ
人ヲ密派スルコトトシ尚国会ヲ北京ニ開会スルコトハ異議
ナキモ北方武力ノ圧迫ヲ予防スル為メ南方ノ兵ヲ北上セシ
メ国会議員ヲ護衛スルコトヲ主張スベキコト等ヲ決議シタ
ル旨唐紹儀梁啓超等連名ヲ以テ昨九日岑春煊ノ許ニ來電ア
リ岑ハ直ニ各都督ニ転電シテ其意見ヲ徴シタル由ナリ尚ホ
岑ハ從來ノ江西出兵計画ヲ中止セズ李烈鈞ノ兵ハ兩三日中

一一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 二〇四 二〇五

ニ全部出発ノ筈ナリ右ハ李烈鈞ノ立場ニ於テ已ムヲ得サル事情アルタメニ依ルモノノ如シ

北京、上海、広東へ転電セリ

二〇四 六月十日 在雲南疆領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾ニ対スル唐繼堯意向報告ノ件(一)

第九二号

(六月十三日接受)

貴電第四〇号袁世凱死去後ニ於ケル帝国政府ノ对支方針ニ関シ唐繼堯ニ会见御訓令ノ趣申入レタリ右ニ付唐ノ談ニ曰ク九日都督府内ニ会議ヲ開キ左ノ数項ヲ決議シ之ヲ黎元洪及ヒ各省ニ通電シタリ

一、黎元洪大總統就任ハ素ヨリ南方側ノ希望スル所ナリ
二、段内閣ハ大總統ノ資格無キ袁ノ下ニ成リタルモノナレハ之ヲ承認セス三、国会ヲ上海ニ開キ副總統ノ選舉ヲ行ヒ又黎元洪ノ下ニ組織スヘキ内閣ハ先ツ国会ニ対シ承認ヲ求メタル後正式ニ組織スヘキ事四、国会召集ニハ時日ヲ要スルニ依リ先ツ臨時内閣ヲ組織スヘク右閣員ハ黎元洪ヨリ予メ軍務院ニ同意ヲ求ムルコト五、国会召集ト同時ニ別ニ各省代表者ヲ上海ニ召集シ軍事會議ヲ開キ軍事ニ関スル善後

ラシメントスル希望ヲ有ス云々

公使香港上海広東肇慶済

二〇六 六月十一日 在雲南疆領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾ニ対スル唐繼堯意向報告ノ件(三)

第九六号(第九三号ノ続キ)

(六月十三日接受)

尚将来上海以上ニ適當ナル国会召集地タルヘキ武昌ヲ南方派ノ手ニ収メ先ツ軍務院ヲ同地ニ移サントスル希望等ノ胸中ニ往来セルモノノ如ク之カ実行手段トシテ黎元洪ノ名ヲ以テ先ツ武昌ノ王將軍ニ命シテ軍隊ヲ撤退セシメ而シテ王カ右命令ヲ奉スルト否トニ拘ラス雲貴軍ヲ湖北ニ向ハシムル如キ其ノ下策トシテ考量ニ上レルモノノ如ク看取セラレタリ袁死去ノ報ヲ入手シタル後去ル八日当地ヲ出發叙州ニ向ヘル黃毓成ハ武昌ヲ衝カントスル熟案ヲ有シタリト伝ヘラル旁々唐繼堯ノ昨今ノ態度ハ革命当初ノ目標タル袁世凱ノ消滅ニ満足セス更ニ南方派ノ勢力發展ニ鋭意画策シツツアルモノノ如ク見受ケラル

在支公使在上海總領事任在広東總領事任在香港總領事及在肇慶領事ニ転電セリ

一一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 二〇六 二〇七

一六二

処分ヲ議スル事

国会議員ハ旧議員ヲ以テス旧議員カ法律上今日迄引続キ資格ヲ有スルヤ否ヤニ関シテハ議論ノ存スル所ナルモ旧議員ハ南方派多数ヲ占メ南方側ニ取りテ有利ナルカ若シ新タニ選舉ヲ行フ時ハ北方諸省ハ元ヨリ四川広東ノ如キ独立ノ省ニ於テスラ態度曖昧ナル龍濟光陳宦ノ下ニ或ハ多数北方派ノ当选ヲ見ル虞アル事情ニ照ラシ旧議員召集ヲ主張セントス(続ク)

北京上海広東肇慶香港へ転電セリ

二〇五 六月十日 在雲南疆領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾ニ対スル唐繼堯意向報告ノ件(二)

第九三号(続)

(六月十一日接受)

又旧議員ニハ国民党系多数ヲ占メ居ルヲ以テ此際進歩党其ノ他新分子ノ代表ヲ必要トストノ議論モアレト上述ノ如キ事情アルヲ以テ進歩党ヲ挙ケントシテ却テ北方派ヲ利スルカ如キ愚ハ之レヲ避ケサルヘカラス又軍務院ハ当分肇慶ニ存続セシメ国会成立ノ曉ニ至リ之レヲ廢シ更ラニ独立各省ノ代表者ヲ以テ軍務所ヲ設立シ南方(不明)ノ軍事機關タ

二〇七 六月十一日 石井外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

南北妥協シ時局收拾ノ方途ヲ策スルコト急售

ト認メラルル旨段祺瑞ニ申入方訓令ノ件

第二一四号

貴官ハ至急段祺瑞ニ会见セラレ左ノ通り申入其結果電報アリタシ

「今般黎元洪大總統トナリタルハ時局收拾上絶好ノ機會ヲ得タルモノニシテ此際黎氏ノ政府ニ於テモ南北妥協時局收拾ノ方途ヲ策セラル、コト最急務ト認メラル、処右ニ就テハ南方側ノ主張ヲモ充分尊重シ速カニ融和ノ途ヲ講スルコト最モ必要ナルヘク然ルニ若シ黎氏ノ政府ニシテ徒ラニ袁世凱氏ノ遺囑ヲ繼クニ止マリ時勢ノ要求ヲ無視セラル、カ如キ方針ニ出テラレンカ支那ノ将来詢ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアラシ帝国政府ニ於テハ黎氏ノ政府ニシテ誠意黎氏ヲ助ケ南北ノ妥協ヲ図カリ以テ国内秩序ノ回復ト日支親交ノ確立トニ力メラル、決心ナルニ於テハ直接間接十分之ヲ援助スヘキ決心ナルニ付腹藏ナキ意嚮承知シタシ」

一六三

一一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 二〇八 二〇九

二〇八 六月十二日 在福州齋藤領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

李將軍ハ黎大總統ヲ援助シ時局收拾ニ尽スベ
シト王交渉員語リタル件

第三八号

王交渉員本日来館語ル所ニ依レハ黎元洪ハ南方ノ同情モアリ段總理モ極力之ヲ援助スヘキニ依リ袁ノ逝去ハ時局ノ為メ却テ好都合ナルヘシ而シテ李將軍力從來袁擁護ニ努メタルハ個人的關係ニ依ルトハ云ヘ爾カスルニ依リ支那大局ノ和平ヲ期シ得ヘシト信シタルカ故ナリ然ルニ今回黎ノ大總統就任ハ南北融和ニ一步ヲ進メタルモノニ付將軍ハ之ヲ助ケテ時局收拾ニ尽スヘシト信ストノコトナリ
北京、広東、厦門ヘ電報セリ

二〇九 六月十二日 石井外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛(電報)

時局收拾ニ関シ黎元洪及南方側首領ニ申入レ
タル旨任國政府ヘ内告方訓令ノ件

第二四〇号

貴官ハ左ノ通り任國政府ヘ内告セラルヘシ

中国ニ對スル塩稅剩余金払渡ニ関シ英外相ニ
内話方訓令ノ件

第二四二号

貴電第二六〇号後段塩稅剩余金払渡問題ニツキテハ既ニ政機密第一一号信ヲ以テ申進シ置キタル如ク主義ノ問題トシテハ今日迄執リ来リタル帝國政府ノ態度ガ支那ニ對スル債權者側ノ利益保護ノ為メ正当ナルヲ確信スルモ帝國政府ハ支那ニ對シ現在往電第二四〇号ノ如キ方針ナルニヨリ往電第二三四号ノ中ニ列挙シタル三条件ニ関シ支那当局ニ於テ納得スルニ於テハ剩余金払渡ノ申出ニ応シ差支無キ意嚮ナル旨「グレー」氏ニ内話シ置カレタシ
右在歐米各大使ニ転電アリタシ

二一一 六月十三日 在南京高尾領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

梁啓超孫洪伊等著京及黎總統ノ旧約法等復活
方途ニ関スル意向ニ付總統秘書談話ノ件

第一一二号

在支公使發南京領事第三九号、六月十三日
外務大臣ヘ転電シ上海總領事ヘ郵報アリタシ

一一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 二一一 二一二

二一〇 一六四

帝國政府ハ夙ニ支那時局ノ一日モ早ク收拾セラレムコトヲ切望セルモノナルヲ以テ袁世凱逝去ノ報ニ接スルヤ之ニ伴フ不穩ノ情勢ニ顧ミ支那政界有力者ノ各方面ニ對シ緩和的勢力(Moderating influence)ヲ用フルノ緊急必要ナルヲ感シ居リタル折柄支那側ヨリ意見ヲ求メラレタルヲ機トシ一方黎ニ對シテハ先ツ國中ノ異分子ヲ融和統一スルニ努メ南方側ノ主張ニ對シテハ慎重ノ考量ヲ加ヘ平和恢復ニ尽瘁セラルヘキヲ告ケ他方南方側首領ニ對シテハ時局ハ主義上南方側ノ希望通りニナリタルモノナレハ大局ノ為メ和衷交譲ノ精神ヲ以テ事ニ当ルノ至当ナルヘキ趣ヲ懇懇シ且又長江筋ノ重鎮タル馮國璋ニ對シテハ帝國政府カ新政府ニ多大ノ望ヲ囑スルハ何等私心ヲ抱クカ為メニ非ス専心大局ノ利害ヲ顧念スルニ出ヅルモノナルニツキ其趣ヲ諒トシ馮氏ニ於テモ南北ヲ調停シ和衷協同ノ精神ヲ發揮セムコト帝國政府ノ切ニ希望スルトコロナル旨ヲ伝ヘシメ置キタリ
右本大臣訓令トシテ在露在仏兩大使ヘ參考トシテ在伊在米兩大使ヘ転電アリタシ

二一〇 六月十二日 石井外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛(電報)

大臣宛番号第五五二号

黎總統秘書劉鍾秀ハ往電第五五一号ノ用談ヲ終リタル後其ノ語ル所ニ依レハ梁啓超孫洪伊等ノ代表ハ既ニ著京北京「ホテル」ニ滞在中ナリ今後同「ホテル」ノ一部ヲ以テ此等南方有力者及其代表者ノ指定旅館トナシ一切ノ費用ハ政府ニテ支弁スル筈ナリ李經羲、王家襄等モ著京目下迎賓館(外交總長官舎)ニ滞在シ居レリ今後如何ニシテ此ノ時局ヲ收拾スヘキカハ黎總統ニ取り非常ナル難問題ナルヘシ黎總統ノ意嚮ヲ忖度スルニ旧約法及參眾兩院ヲ復活セシムルコトニ付テ成ルヘク中央政府ニ於テ initiative step ヲ執ルコトヲ避ケ先ツ馮ヲシテ在南方有力者ヲ勧誘シ上海若ハ南京ニテ会合決議セシメ之レニ依リテ初メテ旧約法復活等ノ申令ヲ發布スルノ形式ヲ執ラントノ下心ナル如ク既ニ其ノ打合セノタメ六月十一日國務院秘書長林長民ヲ馮國璋ノ許ニ派遣シタル由ナリ

二一二 六月十三日 在芝罘岡本領事ヨリ
石井外務大臣宛

袁世凱死去ニ對スル芝罘地方官民ノ態度報告
ノ件

公信第八六号

(六月十九日接受)

大正五年六月十三日

在芝罘

領事岡本武三(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

袁世凱死亡ノ報当地ニ達スルヤ流石ニ支那各官衙ニ於テハ半旗ヲ掲ケテ吊意ヲ表シタルカ商民側ニ於テハ頗ル冷淡ナル態度ヲ以テ右ノ報道ヲ迎ヘ何等袁ノ死亡ニ對シ吊意ヲ表シタルノ事實ヲ認ムル能ハス試ミニ当地支那紳商、新聞記者、学生等ニ對シテ其ノ感想ヲ叩キタルニ極メテ少数ノ有識者ハ時局ノ前途俄ニ樂觀ヲ許サストナスモ多数ハ異口同音袁世凱ノ死亡并人望アル黎元洪ノ大總統就職ハ人心ヲ沈静セシメタリトナスト共ニ時局ノ前途ニ對シ頗ル樂觀シ居レリ、当地方支那官憲ノ間ニ於テモ外間ハ上司ヨリノ命令其他ニヨリ袁ノ死亡ニ對シ吊意ヲ表シ居レルモ衷心ニ於テハ袁世凱ノ死亡ニ對シ痛惜シ居ルモノトハ認メ難ク現ニ小官カ吳道尹ノ許ニ親シク袁總統ノ死亡ニ對スル吊詞ヲ述ヘンカ為メニ赴キタル際ニ於テモ同人ハ袁ノ死亡ニ對シテハ一言痛惜ノ辞ヲ述フルコトナク只黎元洪ノ大總統就任ニ對

二二三 六月十三日

石井外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛(電報)

在本邦英國大使中国時局收拾ニ對スル意見ヲ

求メタル件

第二四七号

六月十二日在本邦英國大使來訪大要左ノ如キ英國外務大臣電訓ヲ示シ本大臣ノ意見ヲ求メタリ

「本大臣ハ日本大使ニ對シ黎元洪ノ就任ニ関シ支那公使ヨリ通牒アリタル旨ヲ談話スルト同時ニ約法ニ依リ大總統選舉セラルル迄副總統其職ヲ行フコトハ適法且唯一ノ措置ナルヘク支那公使カ本大臣ノ援助ヲ求メタルニ對シテハ支那ノ平和秩序ヲ増進スル政府ノ施設ニ對シ外國公使館カ正当ニ与ヘ得ヘキ援助ハ之ヲ吝ムモノニ非サル旨ヲ答ヘタル趣ヲ語リ但シ右ハ条件附ノ約束ニシテ新政府ヲ單ニ臨時政府トシテ承認センコトヲ求メラレタルニ過キサルモノト解シ居ル次第ナリト述ヘ置キタリ尤モ本大臣ノ真意ハ新政府ニ對シ一切ノ援助ヲ与フルコトヲ躊躇スルモノニ非スト雖此際進テ更ニ具體的言明ヲ為スニ先チ時局ニ對スル日本外務大臣ノ意見ヲ承知センコトヲ欲

一一 袁世凱死去後ノ對中國政策ニ関スル件 二二三 二二四

シ其當ヲ得タルコトヲノミ始終説述シ居リタルコトヲ以テモ其一端ヲ窺知シ得ラルヘキカ如シ

釀テ当地方ノ報紙ノ袁世凱ノ死亡ニ對スル論調ヲ見ルニ革命派的色彩ヲ有スル鐘聲報ハ本月九日ノ紙上ニ於テ「袁ノ死亡ヲ痛惜ス然シ吾人ノ總統ノ死ヲ哀ム所以ノモノハ袁カ去年ノ今日ニ死セス今年ノ今日ニ死シタルヲ以テ也袁ノ死ノ其時ニ非サルヲ以テナリ」トナシ、又当地支那官憲側ト連絡ヲ有スル進化報ハ本月九日ノ紙上ニ戲擬祭庸医文并序ナル戲文ヲ以テ袁世凱カ一年以前ニ死亡セサリシ為メニ但ニ天下ノ人多ク死シタルノミナラス袁亦身敗レ名裂ケタリトナシ何レモ袁ノ死ヲ真ニ痛マスシテ単ニ其死ノ時ヲ得サリシヲ説クノミ其裏面ニハ寧ロ此報道ヲ歛ヒ迎フルノ色アルヲ認メ得

次ニ前述ノ如ク当地方ノ商民ハ概シテ袁ノ死亡、黎ノ總統ノ職務ノ代行ニヨリ幾分安堵シタルノ実情アルモ当地方ノ商況ハ依然不振ニシテ商取引ハ引續キ殆ント悉無ノ状ヲ呈シ居レリ

右何等御參考迄ニ報告申進候 敬具

本信写送付先 在北京日置公使

ス

右英國大使ノ申出ニ對シ本大臣ハ大要往電第二四〇号ノ趣旨ヲ内告シ置キタリ御參考迄

二二四 六月十三日

石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

黎大總統ノ就職ハ繼任ニシテ代行ニ非ザル旨

中国側ヨリ通告アリタルニ付其真意突止メ方

訓令ノ件

第二一七号

六月十一日附公文ヲ以テ在本邦支那代理公使ヨリ曩ニ六月七日付ヲ以テ袁大總統逝去ニツキ約法ニヨリ黎副總統ハ大總統ノ職權ヲ代行スルコト、ナリ六月七日就職ノコトニ定マリタル旨外交部ヨリノ電報ニヨリ通告ニ及ヒ置キタルカ六月十日外交部ヨリ更ニ電報アリ右ニ依レハ黎大總統ノ就職ハ繼任ニシテ代行ニ非ル趣ニ付茲ニ前信ヲ訂正スル旨申越ニ接セリ而シテ今回ノ通告ニハ約法ニヨリノ語ナキコトヨリ見ルモ右ハ畢竟支那当局ニ於テ約法問題ニ触ルルコトヲ避クル結果態ト事態ヲ曖昧ニセントノ趣旨ニ出デタル措置ナリト察セラル、モ一方繼任ナル語ハ民国二年大總統選

挙法第五条ノ用語ナルニ付今回ノ訂正通告ハ何等特殊ノ意義アル次第ナルヤ其辺承知シ度ニヨリ真意突止メ電報アリタシ

二一五 六月十四日

在英国井上大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

中国時局收拾ニ関シ黎元洪及南方首領ニ対シ
為シタル日本ノ申入ニ付英国外相ニ内告ノ件

第二六九号

六月十三日「グレイ」氏ニ会见貴電第二四〇号英訳ヲ読聞カセタルニ同大臣ハ支那ノ事態ノ一日モ速ニ收拾セラレンコトハ英国政府モ齊シク切望スル所ニ有之幸ニ日本政府ノ執ラレタル措置ノ結果トシテ右時局收拾ノ時機ヲ早ムルヲ得ハ最仕合ナリト述ヘ尚貴電ノ要領「ジョルダン」ヘ内電シ置キタシトノコトニ付本使ニ於テ之ニ同意シ置ケリ
在欧米各大使ヘ転電セリ

二一六 六月十四日

在英国井上大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

中国塩税剰余金払渡ニ関スル日本側条件ヲ英
外相ニ説述シタル件

日置公使ト協議方早速「ジョルダン」公使ヘ電訓シ置クヘシト云ハレタリ
在欧米各大使ヘ転電セリ

二一七 六月十四日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

我方ノ時局收拾申入ニ関シ段祺瑞ト談話ヲ交
換シタル件

第五五五号

貴電第二一四号ニ関シ先方ノ都合ニ依リ六月十三日段祺瑞ニ会见シ御電訓ノ趣旨詳細伝達シ約一時間半ニ亘リ談話ヲ交換シタル所段ハ先ツ帝國政府ノ好意ヲ感謝スル旨ヲ述ヘ現下ノ時局ヲ收拾スルニハ南北ノ妥協ヲ図ルコト御説ノ通急務中ノ急務トシ又日支親善ヲ以テ國際上ノ最要問題ト思考スト云ヘリ尚南北ノ妥協ヲ図ル第一著トシテ南方ノ意見ヲ徴スルコト必要ナリト考ヘ南方領袖連ノ来京ヲ求メタル所梁啓超ノ代表黃群モ既ニ来著昨日面会セリ其ノ言フ所ニ依レハ南方ニテハ旧約法ノ復活ヲ主張シ居ル由ナルモ自分ノ見ル所ニテハ一片ノ申令ヲ以テ約法ノ変更ヲ行フハ法理上不可能ナルノミナラス仮リニ權宜ノ措置トシテ之ヲ実行

二一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 二一七

第二七〇号

前電ノ談話後本使ハ貴電第二四二号御訓示ノ次第ヲ内話シ尚ホ貴電第二三四号列挙ノ三条件英訳ヲモ示シ我方ノ趣旨ノ在ル所ヲ篤ト説述セルニ「グレイ」氏ハ昨十二日露国大使来省「サザノフ」氏ノ意見ニテハ本件塩税払渡ニ関スル支那側ノ請求ハ此際ノ事情如何ニモ尤モニ付右応諾ノコトトシテハ如何トテ本国政府ノ訓令ノ下ニ本大臣ノ意見ヲ求メタルガ恰モ「グリーン」大使ヨリ日本政府ハ主義上払渡ニ異存ナシ但シ或種ノ条件ノ下ニ於テシタシトノコトナリトノ電報到達シ居リタル際ユエ本大臣ハ右ノ趣ヲ露国大使ニ申聞ケ前述条件ノ如何ナルモノナルヤハ露国政府ニ於テ直接日本政府ヘ問合セ然ルヘキ旨答置タルコトナルガ唯今御内示ノ右条件三点ハ法理上ノ問題ハ別トシ全然自分ノ所見ニ合致シ居ルヲ覺ユ但シ支那側ニ於テ之ヲ承諾スベキヤ貴大使ノ見込如何トノコトニ付本使ハ黎總統ハ目下一心時局ノ收拾ニ焦慮シ居ル次第第二付之ニ必要ナル資金ヲ得ル為ニハ此ノ如キ相当且必要ノ条件ニ苦情ヲ唱フルコト恐ラク之ナカルヘキヤニ存スト答ヘタルニ「グレイ」氏ハ成程左モアルヘシ就テハ右各条件ヲ支那側ニ於テ納得セシムル様

スルモ後日之ニ反対スルモノ生シタル場合再ヒ之ヲ變更セサルヲ得サル羽目ニ陥ルヤモ計リ難シト考ヘタルニ付此際各省ヨリ代表各三人宛ヲ選舉シテ北京ニ派遣セシメ臨時參議院的ノモノヲ組織シテ旧約法復活問題ヲ討議決定セシムルノ案ヲ提出シタル処前記梁ノ代表モ賛成セシニ依リ直ニ決定シ(當館諜報者ノ報スル所ニ依レハ本日ノ國務會議ニテ右ノ如キ案ヲ討議決定シタル由ナリ)既ニ本日各省ヘ其旨夫々電命ヲ發シタル雲貴兩広四省ヘモ同様ノ電報ヲ發シ置ケリト答ヘタルニ付本使ハ若シ単ニ法理上ヨリ論スレハ黎總統ハ新約法第二十九条ニ依リ一時大總統ノ職權ヲ代行スルコト、ナリ又三日以内ニ總統選舉会ヲ組織シ新總統ヲ選舉スルコト、ナリ居ルモ是ハ実行サレサルノミナラス今日迄ノ實際ヲ見レハ矢張旧約法ニ依リ大總統ノ任ニ就カレタル様ニモ見受ケラレ黎總統現在ノ地位ハ新旧約法何レニ依リタルモノナルヤ極メテ不明瞭ニテ少シモ法理ニ準拠セラレタル所ナシ即チ南北ノ妥協接近ヲ計ル為殊更ニ曖昧模糊ノ態度ニ出デ所謂一時權宜ノ弁法ヲ執ラレタルモノト考ヘラル既ニ斯ノ如ク權宜ノ措置ヲ執ラル、以上此際更ニ一步ヲ進メテ旧約法及參衆兩院ヲ復活セシメ以テ南北ノ妥協

ヲ一日モ速ニ實現セシムル方却テ國家ノ為得策ナラスヤ況ンヤ又貴下ハ從來袁總統トノ關係密接ナリシ為南方ニテハ貴下カ今尚極力北方ノ勢力ヲ維持存続セシメントノ底意アル如ク邪推スル向モ渺カラサルヤニ察セラル旁此際思切リ前述ノ如ク權宜ニ弁法ヲ執ラル、方時局收拾上好都合ナラスヤト考ヘラル右ハ本使一場ノ閑話ニ過ギス敢テ其ノ実行ヲ慫慂スル次第ニ非ズト附言シタルニ段ハ御説御尤モナルモ旧約法ノ復活ニ関シテハ賛成者モアルカ同時ニ有力ナル反對者モ渺カラサルノミナラス旧約法ハ實際ニ於テ我國情ニ適セザル点モアリ其ノ他不備ノ箇所渺カラザルニ付此ノ際咄嗟ノ間ニ右ノ如キ重要問題ヲ政府ノ專断ニテ決行スルトキハ後日種々ノ非難攻撃ヲ惹起シ却テ時局ヲ紛糾セシムル懸念アルニ付（段ハ袁ノ旧部下タル倪嗣冲、段芝貴、王占元、李純其ノ他武官連ノ反對ヲ懸念シ居ルニアラザルカト想像セラレタリ）成ルヘク前述ノ如キ臨時ノ民意代表の機關ヲ設立シ此ノ機關ニ依リテ本問題ヲ解決スル方穩当ナリト思考スル旨答ヘタリ本使ハ右會議ハ凡ソ何日頃成立ノ運ニ至ル見込ナルヤト問ヒシニ今月末迄ニ成立セシムル見込ナリ甘肅新疆等ノ如キ辺境ノ地方代表者ハ多分目下上海

ニ集合シ居ル旧參衆兩議員中ヨリ然ルヘク選舉決定スルナラン現今ノ政局ニ関シ彼レ此レ議論スルモノハ多ク目下上海ニ居ル政客連中ナレバ此ノ連中ガ満足スル代表者サヘ選舉派遣サルルコトナレバ先ヅ無事ニ進行スルコトヲ得ルナラント答ヘ尚ホ時局收拾ノ方法ニ関シテハ成ルヘク多数ノ朝野名士ノ意見ヲ參酌スル積リナルガ汪大燮李經羲等ハ既ニ來京シ貴賓トシテ迎賓館ニ滞在シ居リ熊希齡モ不日來著ノ筈ナリト附言セリ本使ハ外間伝フル処ニ依レハ南方ノ要求ハ單ニ約法ノ復活ニ止マラス内閣ノ改造、參衆兩院ノ復旧及帝政問題ノ元兇処分等ヲモ含ミ居ルトノ事ナルカ事実ナルヤト問ヒシニ段ハ梁ノ代表ト会見セシハ僅々一回ニシテ且ツ多忙ノ為メ旧約法復活問題ノ外未タ其他ニ談及スル邊ナカリシ又内閣改造ノ如キ先ヅ前記約法問題解決ノ上ナラデハ南方側ノ期待スル如キ内閣ノ組織ハ絶対ニ不可能ナルヲ以テ差向キ現狀維持ノ外ナカルヘシ尤モ財政農商部總長ノ如キ何レモ再三辭意ヲ洩ラシ居ルニ付其内多少ノ變更ヲ行フベキヤモ計リ難キガ要スルニ之ハ過渡期間ノ内閣ニ過キス其他一切ノ問題モ前述各省代表者會議ノ後ニ至ラザレバ如何ニ成行クヤハ今日明言スルコト能ハズト答ヘ財

政狀態ニ関スル本使ノ問ニ對シテハ目下支那政府ノ最モ苦心シ居ルハ財政問題ニシテ差当リ塩稅剩余ノ交付ヲ渴望シ居ル次第ナリ無論夫レ丈ニテハ不足ナルヲ以テ囊ニJoss Higginson and Co., ト契約シタル借款米貨五百万弗ノ内既ニ受取済ノ五十万弗ヲ除キ其殘額ヲ成ルヘク至急交付方折角米國資本家ト交渉中ナルガ右全部受取リタリトテ到底不足ヲ免レザルニ付早晚新タニ右借款ヲ起ス必要アルモ未タ何等具體的著手ノ運ニ至ラズト云ヘリ本使ハ更ラニ日支間ノ國交ニ関シ時々發生スル小問題ノタメ日支親善ノ根本義ヲ閑却スベカラズ今ヤ兩國提携ノ実ヲ挙グベキ好機ナルコトヲ詳細説明シタル所段ハ之レニ對シ黎總統ハ勿論自分ニ於テモ日支ノ親善ト提携ハ最モ希望スル所ナリ貴我兩國ハ種々ノ点ニ於テ密接ノ關係アルガ就中經濟上ノ關係最モ密接ナレバ今後實際問題ニ付種々御相談ノ機會モアルヘシト信ス要スルニ貴我兩國ニ利益ナル事柄ハ之ヲ實行スルコト容易ナルベク又仮令貴國ニ利アリテ支那ニ利ナキ事業ト雖モ支那ニ害ナキ限り之レ亦実行難事ニアラザルベシ國交モ個人ノ交際ト原理ニ於テ異ラズ誠心誠意隔意ナク意志ノ疏通ヲ計リ誤解ナキ様心懸クレバ円満ナル關係ヲ持續シ相

互ノ福利ヲ増進スルコトヲ得ヘシト信ズト答ヘ最後ニ西南各省ノ情況ニ関シ尋ネタル処北軍ハ漸次撤退スル様既ニ夫々命令ヲ發シタリ又四川陝西ヨリ獨立取消ノ電報ニ接シタルモ湖南浙江ハ單ニ黎總統ノ就任ニ對スル祝電ヲ寄セタルノミ獨立取消ニ何等言及スル処ナカリシ雲貴兩広ヨリモ未タ何等ノ消息ニ接セス只岑春煊ヨリ黎ノ就任ヲ祝スル旨ノ來電ニ接シタルノミ其他宗社党乃至張勳ノ活動云々ニ関シ新聞紙上種々ノ風説アルモ清室ニ於テハ右ノ如キ風説アルゴトニ却テ不安ノ念ヲ起シ大ニ之ヲ嫌忌スルノ風アリ張勳ト雖モ此際何等異図アル模様ナク常ニ中央ニ向ケ極力其他意ナキヲ弁明シ居レリト云ヘリ本日ノ会見ニ依リ本使ノ得タル印象ニ依レハ段ハ從來袁及其ノ一派トノ關係深カリシ事情モアリ南方側ニ對シ此際成ルヘク無益ノ誤解ト嫌疑ヲ惹起サザル様注意シ同時ニ四囲ノ狀況ニ適応シテ此ノ難局ヲ無事ニ斬リ抜ケント極力腐心シ居ルモノ、如ク又其ノ性格卒直且寡言或程度迄ハ極メテ坦懷ナル態度ヲ示スニ依リ此点ニ関シテハ去ル六日会見シタル各國使臣間ニモ同様ノ印象ヲ与ヘ好感ヲ博シタルモノ、如シ而シテ黎總統トノ間モ今日迄ノ処未タ何等扞格ヲ生シタル模様ナキモノノ如シ

併シ段ノ政治的手腕ニ至テハ支那現下ノ難局ヲ安排スルニハ或ハ聊カ心許ナキヤニ感ゼラル總統府側ノ伝フル所ニ依レバ大小ノ画策一二段ノ股肱タル徐樹錚ニ出ヅルモノ多シトノコトナルガ徐ハ去年段力陸軍總長當時陸軍次長タリシガ段ノ辭職ト共ニ瀆職事件ノ為免官トナリシモ今回段ガ出廬スルヤ再ヒ其ノ幕ニ參シ六月十三日附策令ヲ以テ國務院秘書長ニ任命セラレタルモノナリ

二一八 六月十四日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎總統ニ於テ塩稅剩余金ノ交付方ニ付日本公使ノ尽力ヲ希望シ居ル旨等總統秘書ヨリ船津ニ語リタル件

第五五七号

六月十三日夜劉鐘秀ハ船津ヲ其私邸ニ訪ヒ黎總統ノ命ナリトテ先ツ中央ニ於ケル財政上焦眉ノ急ヲ救フタメ是迄度ヒ度ヒ御願ヒシタル塩稅剩余金ノ交付方此上トモ日本公使一層ノ御尽力ヲ仰ク旨ヲ述ヘ次ニ之ハ全ク本使ノ含迄ニ極秘トシテ伝ヘラレタシト前提シ黎總統ハ愈々梁士詒周自齊ヲ免官セシムルコトニ決シ表面ハ同人等自身ヨリ辭職若ハ病

シツハアルハ事實ナル如シ

(奉天發由 六月十五日、前〇、三〇)

二一九 六月十五日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎ノ大統領繼任ノ意味ニ関シ回電ノ件

第五五九号

貴電第二一七号ノ通曹總長ニ取糺シタル処外交部ヨリ劉代理公使ニ黎大統領ハ新約法第二十九条ニ依リ就任セシ次第ナルモ立法院等存在セサル為新約法ニ拠リ職務ヲ執行シ難キ次第ナルニ付任国官民ヨリ自然質問アリタル節ハ其ノ意味ニテ答弁シ置キ然ルヘキ旨訓令シ置キタル迄ニシテ若シ東京ニ於テ六月十一日附公文ヲ以テ前公文ヲ訂正シタリトセバソハ劉ガ訓令ノ意味ヲ取違ヘタルモノナルベシト答ヘ現政府ノ見解ハ飽迄大統領ハ新約法ニ拠リ就職セルモノト看做シ居ル次第ナルモ目下立法院ハ未タ存在セズ事實就任後三日以内ニ大統領ノ選舉等ヲ行フノ不可能ナルノミ新約法ハ兎モ角合法ノ手續ニ拠リ成立セルモノナルカ故ニ現任總統ノ一片ノ命令ニテ如何様ニモ之ヲ取消シ得ヘキ筋合ノモノニアラズ從テ新約法ハ合法ノ手續ニ依リ正式ニ取消サ

一一 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 二一九 二二〇

氣ニ付請暇願ヲ申出ヅル形式トシ本月末ニ至リ更迭ヲ実行スルコト、ナルヘシ塩稅剩余金交付ガ遅々トシテ実行セラレザルハ日本側ニ於テ梁周等カ財政ノ要路ニ當リタル間ハ充分信頼スル能ハサルタメナリト黎總統ニ於テ信シ居ラル旨述ベタルニ付船津ハ日本ノ無責任ナル新聞紙カ時々梁氏等ヲ攻撃スルコトアルモ政府筋ニ於テ梁周等ヲ排斥シ居ルコトハ自分ノ関スル限り一向承知セズ右ノ如キ話ハ黎總統ニ於テ何レヨリ聞込マレタルモノナルヤト反問シタル処自分(劉)モ其辺マデ突止メザリシモ兎ニ角黎總統ニハ右様信シ居ラルハコトハ事實ナリト答ヘタル由ノ処右ハ黎ガ南方側ノ意嚮ヲ緩和スル為メ先ツ兵權ヲ有セサル梁周二人ヲ除カントスルモ南方側ノ圧迫ニ依リ此舉ニ出デタル如ク世人ニ思ハレテモ新總統ノ面上余リ面白カラズトノ考ヨリ之ヲ一層有力ナル日本当局ノ意嚮ニ藉口シ梁周二対シテ自己ノ立場ヲ擁護セントノ魂胆ニ出デタルモノカ或ハ袁死後ノ今日尚ホ順天時報ガ連日筆ヲ極メテ梁周ノ徒ヲ攻撃シ居ルヲ以テ直ニ之ヲ以テ日本官民ノ意嚮ナリト看做シタルニヤ其辺ノ動機何レニ在ルヤ不明ナルモ兎ニ角南方側ガ帝政元兇ノ巨魁ト目スル梁周等今後ノ地位ハ將ニ顛覆セント

ルル迄ハ兎モ角有効ノ根本法ト認メザルヲ得ズ尤モ南北多数ノ意見ハ新約法ヲ廃止シ旧約法ヲ恢復スルカ若ハ別ニ新タナル憲法ヲ制定スルカニアルガ如キヲ以テ目下政府ニ於テモ其手續ニ関シ講究中ニシテ、略ホ從前ノ約法會議ノ如キモノヲ組織シ是ニ依リ其問題ヲ決定スルコトニ定マリ既ニ各省ヨリ三名ノ委員ヲ派遣セシムルコトナリ居レバ約法問題モ遠カラズ決定セラルベク先以テ夫迄ハ現大統領ハ新約法ニ依リ大統領タルモノニシテ蔽正ニ其条項ニ依リ職權ヲ行ヒ難キハ事實不可能ナルニ依ル次第ナリト説明セリ

二二〇 六月十五日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

張勳ハ徐州會議ノ結果ヲ北京海軍部歩軍統領等へ通電シタル件

別電 同日在中国日置公使宛石井外務大臣宛電報第五六三号 張勳通電大要

第五六二号

張勳ハ南京會議ニ出席セル北方各省代表者ノ帰途ニ在ル者ヲ徐州ニ集メ會議ノ結果大要別電第五六三号ノ如キ六月九

日附通電ヲ北京海軍部、歩軍統領、京兆尹其他各省ノ將軍巡按使ニ宛發送シタル由ナルカ右ハ政府筋ニ問合セタル処事実ナリトノコトナリ

(別電)

六月十五日在中国日置公使苑石井外務大臣宛電報

第五六三号

南京會議ハ元ト国家保衛ノ為ニ設ケタルモ南方各省ヨリ久シク返電ナキ為暫ラク中止ノ姿ニアリシ際袁總統ノ薨去ニ遭ヒ右會議ヲ解散スルコトナレリ依テ本官ハ時局ノ險惡ナルニ顧ミ北方各省代表ニ帰途徐州ニ立寄ランコトヲ請ヒ左ノ十ヶ条ヲ提議シタリ

一、前清皇室ノ優待条件ヲ尊重スルコト

二、袁總統家族ノ生命財産及死後一切ノ榮譽ヲ保全スルコト

三、正当ノ選舉手續ニ依リ速カニ国会ヲ組織シ憲政ヲ施行スルコト

四、雲貴、兩広、浙江、四川、陝西、湖南ノ独立取消ヲ催促シ之ニ応セサレハ武力ヲ以テ解決スルコト

五、屢々動乱ヲ起シタル暴戾分子ノ政權ニ参与スルコトヲ

ス從テ過日御願致シタル塩稅剩余引当テノ借款談(往電

第五五一号参照)モ出来サル始末ナルガ一方市面救済ノ為

兌換開始ノ必要ハ益々其ノ急ヲ告ケ来リ此上更ニ遷延スル

コトハ如何ニモ堪ヘ難キ次第ナルヲ以テ此際四国団トノ相

談ハ今後ノ成行ニ任セ差当リ日本資本家ヨリ五百万弗借入

レタキニ付日本政府ニ於テ御尽力アリタキ旨本使ニ執成シ

方申出タル由尚ホ最近新聞電報ニ依レハ日本政府ハ閣議ヲ

以テ当分支那ノ政局ヲ傍觀スルコトニ決定セリトノコトナ

ルカ右ハ果シテ如何ナル意味ナルヤ日本ハ是迄袁政府ニ對

シテ表面傍觀的態度ヲ執ル旨声明シ居ラレタルガ今回ノ傍

觀的態度ハ何ントナク同意味ノモノトハ思ハレザルヲ果シ

テ如何ノモノニヤト黎總統ニ於テモ懸念シ居ラル、由附言

シタルニ依リ船津ハ右ノ如キ報道ハ新聞電報ニテ見タルコ

トアルモ果シテ事実ナルヤ否ヤ承知セズ然シ仮ニ事実ナリ

トスルモ極メテ好意的ノモノナルベシ要スルニ黎總統政府

ガ果シテ日本政府ノ真意ノ在ル処ヲ十分ニ諒解シ從來ノ方

針ヲ一変スル所存ナルヤ否ヤ明ナラザル為メ右ノ如キ風説

ヲ生シタルモノナラント答ヘ同時ニ貴電第二一九号ノ趣旨

ニ基キ懇切ニ説明スル所アリシニ劉ハ是迄黎總統ヨリモ言

絶對ニ停止スルコト

六、兵備ヲ嚴ニシテ各省ノ治安ヲ保衛スルコト

七、正当ノ主義ニ拠リ国家ノ秩序ヲ維持シ若シ兵ヲ交フル場合必要ノ軍事費ハ共同調達スルコト

八、時局平定ノ後民苦ヲ沮止セシムル為苛刻ナル賦課金免

除ヲ建議スルコト

九、中央ノ政ニシテ民ノ害トナルモノハ協同忠告ノ義務ヲ

尽スコト

十、中央ノ政費節減ヲ実行スルコト

右ハ直隸、奉天、吉林、黑龍江、山東、山西、河南、新疆、京兆、熱河、札哈爾ノ各代表者何レモ賛成シ且本日會議ノ狀況ヲ各長官ニ報告スルコトナレリ云々

二二 六月十六日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

黎ニ對シ財政上相當援助ヲ与ヘ焦眉ノ急ニ応
ゼシムルコトト致度旨上申ノ件

第五六六号

六月十五日劉鍾秀ハ黎總統ノ命ニ依リ船津ヲ來訪シ塩稅剩余金ノ交付モ外交団ノ意見纏ラザル為未タ実行ノ運ニ至ラ

明セラレタル通十分日本政府真意ノアル所ヲ諒解シ目下折

角南北ノ妥協ヲ図ルコトニ熱心尽力中ナルモ如何セン財政

ノ窮境ハ殆ント其ノ極点ニ達シ一日ヲ緩ウスベカラザル実

情ナレハ此際日本ノ義侠的援助ニ依リ黎總統ヲシテ此ノ難

関ヲ切り抜ケシメ黎總統政府ヲシテ名実共ニ南北ヲ調和シ

統一ヲ図ル丈ノ実力ヲ得セシムルコトハ時局收拾上極メテ

肝要ナラント信ス又今日迄屢次種々ノ援助ヲ先ヅ日本ニ向

ツテ求ムルハ之レ即チ黎總統ノ日本ニ信頼スル唯一ノ表彰

ナラズヤト思考ス尚右五百万弗ノ借款出来ル見込立タハ詳

細ナル条件等ハ追テ相談スルコトト致シタシト答ヘタル由

ナリ貴電第二一九号御電示ノ次第アルモ此際財政上相當ノ

援助ヲ与ヘ焦眉ノ急ニ応セシメザルニ於テハ黎自身ノ地位

ヲ危殆ナラシメ折角收拾ノ緒ニ付キ掛ケタル situation ヲ

破壊シ再ビ時局ヲ紛糾セシムルノ虞アルノミナラス無碍ニ

其要求ヲ拒ムニ於テハ自然米國筋ニ走ルノ機會トナルモ保

シ難ク然ルニ政事借款トシテ融通ニ応ズルコトハ五国団ト

ノ關係モアリ諸事簡易ニ進行シ兼ヌルヲ以テ差当リ予テヨ

リ話アル電話借款ヲ成立セシメ前渡金トシテ三百万乃至五

百万ヲ融通シ以テ黎ヲシテ当面ノ急ニ応ゼシムルコト、シ

テハ如何カト考フ折角我ニ接近シ掛ケタル彼ニ対シ此際漫然誠意ヲ示サズトカ若クハ我真意ヲ諒解セズトカノ理由ノ下ニ今回ノ借款談ヲ不成立ニ帰セシムルハ甚ダ面白カラズト感ゼラルルニ付此際実業借款ノ名義ニテ相当ノ利権ヲ収メ一ニハ黎ノ面目ヲ立テ一ニハ将来彼ヲシテ益々我ニ信頼セザルヲ得ザラシムルノ素地ヲ作ルコト必要ナラズヤト思考ス電話借款ノ話ハ昨今中日トノ間ニ多少ノ交渉ヲ進メツツアルカ如シ詳細同会社ニ諮問セラレタシ(終)

二二三 六月十六日 石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

正金借款利払期ニ遅延ナキ様中国側へ注意ヲ
与ヘラレタキ件

第二二六号

貴電第五五三号ノ末段ノ件ニ関シ仏国公使ヨリ海關鉄道公債利払ニ付正金ト同様ノ申出アリタル趣ノ処支那政府ノ正金ニ対スル借款ハ往電第二一六号訓令ノ通仏国其他ニ対スル借款トハ契約内容ヲ異ニシ居レリ正金借款契約ニハ塩税ヨリ最先ニ支払ヲ受クヘキ明文アリテ支那政府ニ於テ之ヲ承認シ居ル次第ナレハ正金ヲシテ請求ヲ差控ヘシムル様説

得スルハ甚困難ナルモ仏国側カ其申出ヲ撤回セハ当方ニ於テモ正金ノ説得ヲ試ムヘシ但シ右ハ正金カ当然有スル權利ノ行使ヲ差控フルモノナルニ付右様取計フニ付テハ正金ヨリ支那政府ニ対シ(一)今回塩税剩余ノ交付ヲ受クル為支那政府ノ財政ニ余裕ヲ生スル場合ニ付其中ヨリ直チニ支払フカ(二)期限マテ別ニ担保ヲ差入ル、カ又ハ(三)期限ニ至リ尚支払ヲ為シ得ザル場合ニ今後支那政府カ得ヘキ最先ノ収入ヨリ支払フ様措置方交渉スル筈ニシテ尚以上何レノ場合ト雖モ塩税ニ対スル正金ノ優先権ヲ失ハサルハ当然ニ付今回以外ノ場合ニ於テ支那政府ガ外ニ塩税剩余ヲ引渡サル、場合ハ正金ニ於テ支払ヲ受クヘキ次第ナリ就テハ貴官ハ適當ノ方法ニヨリ予メ支那政府ニ右ノ趣ヲ通セラレ且十一月利払期ニ至リ再ヒ今日ニ於ケル如ク資金ノ引渡ヲ遅延シ正金ノ立場ヲシテ困難ナラシメサル様篤ト注意ヲ与ヘ置カレ度シ

二二三 六月十六日 在肇慶太田領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

岑春煊、陸榮廷等連名ニテ時局收拾ニ関スル
電報ヲ黎大總統宛シタル件

第七〇号 六月十五日

激ノ主張ニアラス我等右四項ノ大綱ヲ定ムルト共ニ即時代表者ヲ派遣シテ善後策ヲ籌商セシムヘキニ付大總統ニ於テモ上述ノ四項ニ依リ明カニ宣言スル所アリ度而シテ主張一致シ施設克ク進行スルニ至ラハ煊ハ進ンテ引退スヘシ云々北京上海へ転電セリ

二二四 六月十七日 在天津松平總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

張勳ハ徐州會議ノ結果ヲ各省ニ通電ノ件

第七三号

張勳ハ馮國璋ノ手ヲ經テ南京會議ノ帰途直隸、奉天、吉林、黑龍江、山東、山西、河南、新疆、京兆、熱河、札哈爾ノ各代表ヲ徐州ニ招待シ時局ニ関シ左記十条ノ要項ヲ商議シ各省ニ通電セリ

一、前清皇室優待条件ノ各項ヲ尊重スルコト
二、袁世凱遺族ノ生命財産及袁世凱死去後ノ一切ノ名誉ヲ保全スルコト

三、正当ナル選挙手續ニ依リ速ニ国会ヲ組織シ完全ナル憲政ノ施行ヲ政府ニ要求スルコト

四、雲南、貴州、廣西、廣東、浙江、四川、湖南、陝西各

二 袁世凱死去後ノ对中国政策ニ関スル件 二二四

省ノ独立ヲ取消サシムルコト若シ之ニ応セサルトキハ武力ヲ以テ解決スルコト

五、屢々乱ヲ企テタル一般ノ不穩分子ノ政權ニ参与スルコトヲ絶対ニ拒否スルコト

六、兵備ヲ嚴重ニ整ヘテ各省ノ地方治安ヲ保衛スルコト
七、正当ナル主義ヲ以テ国家ノ秩序ヲ維持スル為兵ヲ動スノ必要アルトキハ其軍費ハ共同負担トスルコト

八、国事ノ少シク鎮定スルヲ待チテ瑣細ナル雜稅ヲ免シ民苦ヲ除クコトヲ政府ニ連名要求スルコト

九、以後中央政府若シ弊政ヲ行ヒ人民ニ害アリト認ムルトキハ戮力シテ其改良ヲ忠告スルコト

十、中央政府ノ減政ヲ實行シ国体ヲ鞏固ニシ国家ノ前途ニ関スル協議事項ハ努メテ同一ノ態度ヲ執ルコト

右結了後尚張勳ハ現大總統黎元洪ハ約法ニ照ラシ就任シタルモノニテ国政ヲ附託スルノ人ヲ得タルヲ賀シ吾等各省軍民長官ハ必ス協力一致シテ共ニ永遠ヲ圖ラサルヘカラズ決シテ費言ニ惑ハサレ妄リニ揣摩臆測ヲ逞フスヘカラズト声明シタルヲ以テ各代表者モ之ヲ聴テ欣然タリ云々
北京ヘ郵報セリ

二二六 六月十八日 在南京高尾領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局收拾ニ関スル馮國璋ノ態度報告ノ件

第一二八号

往電第一二七号ニ関シ親シク事情聞取旁六月十七日馮將軍ヲ訪問セリ談話ノ要領左ノ通

本官ハ先ツ昨今各方面ヨリノ報道ヲ綜合スルニ時局ノ成行ハ主トシテ新旧約法ノ何レニ拠ルヘキカカ問題トナリ之ノ解決附カサル以上ハ南方独立各省ニ於テモ容易ニ取消ノ舉ニ出テサルモノノ如シ果シテ然ルヤ又右ニ関シ貴將軍ノ意見ト現在ノ成行差支ナキ限り承知シタキ旨ヲ陳ヘタルニ馮ハ南方各独立省ノ態度ハ自分ニ於テ甚タ解スヘカラサルモノアリ殊ニ軍務院ナルモノハ昨今ニ至リテ益々放縱ノ態度ヲ示シ自カラ政府ト称シ勝手氣儘ノ熱ヲ吹キツ、アリ思フニ袁世凱既ニ斃レ彼等ノ理想トセル黎元洪大總統トナリタリ以上ハ茲ニ從來ノ主張ヲ貫徹セル訳ナレハ先ツ第一ニ其

二二五 六月十七日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

約法問題ノ會議ニ関シ報告ノ件

第五七三号

約法問題ハ各省ヨリ選出セル三名ノ代表者ノ會議ニテ之ヲ決定セントスルノ案ハ其後各省長官ヨリ民意ノ趨向ヲ取調ヘ報告シ其結果ニヨリ約法問題ヲ決定スル事ニ變更セルハ夫レ夫レ既ニ電報ノ通ナルカ其後此案ニ對シテモ復又有力ナル反對論ヲ生シ斯クテハ民意ニ拠ルモノニアラストノ議起リ本案モ亦遂ニ實行見合セトナリ更ニ國務院ハ協議ノ上当初ノ第一案ヲ復活シ黎元洪ノ同意ヲ求メタルニ對シ黎ハ代表者ヲ召集スルナラハ旧國會議員ヲ適當トスヘント主張シタルモ國務院側ニ於テハ同院ノ議決採用セラレサルニ於テハ閣員ノ総辭職ヲ請フノ外ナシト威嚇シタルニ依リ黎モ止ムナク其儘泣キ入ラントスル折柄國務院案ニ反對スルモノ次第二増シ結局各省ヨリ旧國會議員各三名ヲ互選上京セシムルコトニ内定シ一応南方側有力者ノ意見ヲ徴シタル上不同意ナラサルニ於テハ之ヲ決行スル予定ナリト云フ右ノ如ク南北融和ノ根本義タル約法問題モ總統側ト國務院トノ

ノ独立ヲ取消シ然ル後徐ロニ善後ノ策ヲ講スルノ誠意ヲ示スヘキカ当然ナルニ尚引続キ北方ヲ敵視スルノ態度ヲ改メサルハ遺憾ナリトテ頻リニ南方ニ對シ不平ヲ訴ヘ次テ新旧約法ノ選択ニ付テハ頃日来黎總統ヨリ派遣セル使者林長民、上海ヨリノ代表者范源濂等ト協議ノ末先ツ(一)差当リ旧約法ヲ復活セシムルコト(二)旧參眾兩院議員ヲ現在員ノ儘北京ニ召集シテ國會ヲ開クコト(三)右ノ代表機關ニヨリ速カニ憲法ノ制定ヲ行フコトノ要領ヲ決議シ直チニ右ノ次第ヲ公布シテ時局收拾ノ道ヲ講セラレタキ旨書面ヲ以テ黎元洪及段祺瑞ヘ送リタルカ黎ハ兎モ角段ハ決心鈍キ男ナレハ直ニ同意シ得ルヤ否ヤ疑問ナリ自分ノ考ニテハ此際飽迄新約法ニ拠ラントスルコトハ實際ニ無理ノ注文ニテ事實行ハレ難シ差当リ旧約法ヲ復活セシメテ人心ヲ收攬シ其ノ間ニ於テ速カニ憲法制定ノ舉ニ出ツルコト機宜ニ適セル処置ト信スト云ヘルニ付本官ハ聞ク所ニヨレハ貴將軍ハ一時新旧約法ノ何レニモ拠ラス速カニ各省ヨリ各三名ノ代表者ヲ北京ニ召集シ臨時立法機關ヲ組織シテ憲法大綱ヲ定ムヘシトノ意見ヲ中央政府ニ致サレタリトノ趣ナル所(往電第一二四号参照)果シテ然ラハ現在ノ御意見ト一致セサルヤニ考ヘ

ラルルカ如何ト反問シタルニ馮ハ右ノ意見ハ最初黎元洪ヨリ申越セルモノニテ自分ハ一応之レニ賛成シタルカ既ニ旧約法ニ拠ルヘシト決スル以上ハ代表會議ノ如キハ不必要ニ付之レヲ取消シ一日モ速カニ國會ヲ招集シテ憲法ノ制定ヲ行フコト然ルヘシト考ヘタル次第ナリト云ヘルニ依リ本官ハ貴見ノ次第ハ既ニ南方各独立省ヘモ通電セラレシヤ又貴見ニシテ幸ヒニ中央ノ容ルル所トナラハ南方ノ独立ハ直チニ取消サルヘシトノ御見込ナリヤト質シタルニ馮ハ必スシモ然ラサルヘク現ニ本日岑春煊ヨリハ軍務院ノ名ヲ以テ(一)速カニ旧約法ヲ復活セシムルコト(二)國會ヲ開クコト(三)元兇ヲ処罰スルコト(四)南方ト和ヲ講スルコトノ四条件ヲ中央ニ提議セル旨電報ニ接シタリ右ニ依レハ要求ハ仲々面倒ニシテ殊ニ(四)内ニハ如何ナル事項ヲ含ミ居ルヤモ計ラレス(三)ノ元兇処罰ノ件モ亦仲々難問ニシテ先キニ雲貴側ノ指名セル十三名丈ヲ処分スルトセハ其ノ余ハ如何ト云フ問題起リ全部トナラハ帝政ニ賛成セル各省將軍巡按使等迄モ間ハルルコトトナリ(真先ニ勸進帳ニ署名セル蔡鍔ノ如キ到底免レス頗ブル奇觀ヲ呈スヘシト云ヘリ)到底満足ノ解決ハ行ハレス私見ニテハ直チニ元兇ト目サルル人々ノ官職ヲ免シ

第五七六号

約法問題ハ往電第五七三号ノ通南方側ノ反対アリシタメ各省地方長官ノ意見ヲ徴シテ決定スルコトニ變更シタル由ナルモ是又反対アリテ行ハレス殆ント行詰リノ姿トナリ一ニ湯化竜ノ來著ヲ待チテ決スルコトナリ居リタル所湯ハ昨十八日著京六国飯店ニ投宿早速黎總統及段國務總理ニ會見シタル由聞込ミタルニ付其ノ結果ヲ確ムルタメ船津ヲシテ往訪セシメタル所湯ハ吾人ノ主張ハ飽迄命令ヲ以テ直チニ旧約法參衆兩院ノ復活ヲ宣布セシメ引続キ新内閣ヲ組織スルニ在リ黎總統ハ無論異議ナキ様ナルモ段總理ハ一片ノ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルハ不都合ナルノミナラス種々ノ故障ヲ惹起スル虞アリトノ意見ナリシ

同日ノ會見ハ著京ノ挨拶ト同時ニ大体ノ意見ヲ交換シタルニ止マリ未タ詳細ニ亘リ議論ヲ闘ハス暇ナカリシヲ以テ本日再ヒ段ニ會見シ元來新約法ナルモノハ法律上正当ナル手續ヲ履マスシテ制定セラレタルモノニテ完全ナル法律ト見做スヲ得ス從テ命令ヲ以テ之レヲ變更スルトモ何等不都合ナシト信スルニ付新約法制定當時ノ成行等詳細説明ノ上飽迄南方ノ主張ヲ貫徹スルコトニ尽心スル覚悟ナリト述ヘ尚

再ヒ任官セシメスト云フ位ノ程度ニテ片ヲ付クルノ外ナカルヘシト考フ此ノ意見ハ既ニ中央ヘモ申送り置キタリ次ニ林長民等ト協議セル三個ノ要求ハ既ニ各省ヘモ通電セルカ未タ何レヨリモ回電ニ接セスト語リ時局收拾ノ見込ニ付テハ容易ニ見当付カス只今ノ所自分ト南方ノ間ニ意見相違ノ点ハ只元兇処罰問題ノミニ過キサルカ如キモ今後又何事ヲ申立ルヤモ計リ難ク殊ニ前陳(四)ノ提議ノ如キハ甚タ氣ニ喰ハスト云ヒ未タ確タル見込立チ居ラサルモノノ如シ叙上ハ差当リ今日ニ於ケル馮ノ態度ニテ格別詐アルヘシトモ思ハレサレハ今後ノ程ハ受合ヒ難シ現ニ多賀中佐力数日前面會セル際差当リ旧約法ニ拠ルコト然ルヘキ旨ヲ說キタルニ容易ニ同意ヲ渋リタルモノカ今日ニ於テハ恰モ当初ヨリノ意見ナルカ如ク熱心ニ旧約法ノ復活ヲ主張セルカ如キ其ノ一例ニシテ思フニ右ハ上海代表范源濂等ヨリ說キ伏セラレタル結果ナラント想像セラル

北京ニ電報シ上海ニ郵送セリ

二二七

六月十九日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

約法問題ニ関スル湯化竜ノ意見報告ノ件

不日張繼、范源濂等モ南方側ノ代表トシテ当地ニ來ル筈ナルカ自分ハ黎總統トハ特別ノ關係モアリ彼等ト同道ノ必要ナシト考ヘ單獨出京シタル次第ナリ何レ本日日本官ヲ訪ヒ懇談ヲ遂ケタキ所存ナリト附言シタル趣ナリ

上海ヘ転電セリ

二二八

六月十九日

在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

旧約法復活ニ関スル「モリソン」意見報告ノ件

第五八〇号

六月十九日龜井カ「モリソン」ヨリ聞ク所ニ依レハ去ル十七日黎總統ハ有賀、「モリソン」「Willoughby」三顧問ヲ召見シ旧約法復活問題ニ関シ意見ヲ徴シタル所有賀ハ旧約法ノ復活ハ差支ナキモ新旧約法并ヒ存セシムルコトハ不可能ナルニ付旧約法ヲ復活スレハ勢ヒ新約法ヲ取消サ、ルヲ得ス併シ新約法ハ正当ノ手續ニ依リ發布サレタル法律ナレハ之レヲ取消スニハ又正当ノ手續ヲ履マサルヘカラスト答ヘ「モリソン」ハ自分ハ法律ノコトハ心得サルモ差当リ出來ル丈速カニ治安秩序ヲ恢復スルコトハ支那ニ執リ現下ノ

最大急務ナルコト誰シモ異存ナキ所ナルヘシ若シ其ノ目的ヲ達スルタメニ必要ナルニ於テハ命令ヲ以テ旧約法恢復ヲ宣布スルモ已ムヲ得サルコトナルヘシト考フル旨ヲ答ヘWilloughbyハ自分ハ著任後日尚浅ク支那ノ政局ニ関シテモ十分承知セス從テ自己ノ意見ヲ立ツル能ハサルモ今日迄見聞スル限りニ於テハ「モリソン」氏説ハ時局收拾上已ムヲ得サル措置ナルヤニ考ヘラルルト述ヘタル由ナリ

二二九 六月二十日 在中国日置公使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

旧約法復活ニ対スル段祺瑞ノ態度報告ノ件

第五八三号

約法問題ニ関シテハ黎元洪ハ最初ヨリ旧約法復活ニ異存ナカリシモ段祺瑞ノ意嚮兎角鮮明ナラス未決ノ儘今日迄時日ヲ遷延シ来レルカ最近ニ至リ段モ漸ク旧約法復活ニ異議ナキ意嚮ヲ示スニ至リ其ノ手續ニ関シ種々考慮ヲ廻ラン居ルモノノ如ク更ニ昨今ニ至リ湯化竜来京シ黎段等ト会见種々意見ヲ交換セル結果漸次ニ段モ新約法ナルモノハ袁ノ任意ニ制定セルモノニシテ民意ニ依リ決シタルモノニアラス袁一時ノ不当命令ト見テ可ナク故ニ単ニ新大統領一片ノ命

ヲ承ハリ度シ

抑モ前清ノ末我国ノ政治腐敗ノ極ニ達シ国運衰亡ニ瀕スルニ至リタルハ全ク少数ナル滿人ノ專制ニ出ヅルモノナルカ為メ第一革命ハ其惡弊ヲ打破センカ為メニ起リタルモノニシテ其目的ハ種族革命ニ在リキ然ルニ袁世凱ハ巧ニ其間ニ在リテ清室ヲ倒シ自ラ大統領トナリタルカ其以後ノ模様ヲ見ルモ毫モ政治ノ改良ヲ為サス專制ノ惡弊前清ニ劣ラサルヲ以テ更ニ第二革命ヲ起スニ至リタルカ時機未タ宜シカラスシテ失敗ニ至レリ而シテ袁ハ益暴虐ヲ恣ニシ遂ニ皇帝タラントノ野心ヲ起シ巨額ノ国帑ヲ濫費シテ民意ヲ製造シ其非望ヲ遂ケンシタルヲ以テ蔡鐸先ツ雲南ニ討袁ノ義旗ヲ翻シ南方ノ各省之ニ響應シ天下ノ人心皆之ニ歸嚮スルニ至リタルカ過日袁世凱ノ突然死亡セル後黎元洪大統領ノ位ヲ繼キタルモ段祺瑞始メ其周圍ハ皆袁世凱ノ余孽ニシテ表面南方ト妥協セントスルモノノ如キモ誠意ノ見ルヘキナク時局ノ收拾其困難ナル模様ナリ之ニ對シ閣下ノ御高見ヲ承リ度シ

石井大臣曰ク 目下東洋ニ於テ独立國ノ体面ヲ有スルハ支那ト日本トノ兩國アルノミニシテ欧米ノ勢力ノ侵入ヲ防

令ヲ以テ適法ニ之レヲ取消得ヘシトスル湯化竜其ノ他ノ主張ニ同意シ右命令ヲ以テ新約法ヲ取消ス案ハ一応段ノ名義ヲ以テ在上海各代表者ニ其ノ可否ヲ確メタル上之レヲ実行スルコトニ内定セリト云フ

肇慶、雲南、香港、天津、上海、広東、漢口、南京へ転電セリ

二三〇 六月二十四日 石井外務大臣 會談
黃興

時局ニ関シ黃興ト會談ノ件

石井外務大臣ト黃興氏トノ會談要領

大正五年六月廿四日午前九時石井外務大臣ハ其官邸ニ黃興氏ヲ引見シタリ其會談ノ大要左ノ如シ

黃興氏曰ク 予テ拝眉ヲ得度存シ居リタルモ御多忙ノ御様子ナレハ差控ヘ居リタル処今日其機ヲ得タルハ欣幸ニ勝ヘス

石井大臣曰ク 久シク御高名ヲ承リタルカ今日御面會ヲ得タルハ幸ナリ

黃興氏曰ク 今回我國ノ事件ニ對シ種々御援助ヲ賜ハリタルハ感謝ニ勝ヘス今日ハ腹藏ナキ卑見ヲ申上ケ種々御指教

キ東亞ノ大局ヲ維持セントスルニハ実ニ此同文同種ナル兩國相提携セサルベカラサルハ貴下モ御同感ナルヘシ然ルニ袁世凱カ大統領トナリテヨリノ施設ヲ察スルニ日本ニ對シテハ口ニ親善ヲ唱フルモ暗ニ欧米ノ勢力ヲ藉リテ日本ヲ抵制シ排斥セントスルノ方針ナルカ如キヲ以テ日本ハ種々ノ方法ヲ講シ兩國ノ親善ヲ図リ袁總統ノ方針ヲ變更セシメント努力シタルモ其効ナク而シテ歐洲戰爭起リテヨリ以来兩國ノ親善ヲ図ルヘキ好機會アルニ却テ支那ノ民意ニ反シテ皇帝タラントノ非望ヲ企テ波瀾ヲ起サントスル形勢ナルヲ以テ日本ハ其中止ヲ勸告シタルモ毫モ之ヲ顧慮スルコトナク其計畫ヲ進メタルカ故ニ日本ノ輿論モ皆之ニ反對シタルカ討袁軍起リ南方各省之ニ応シ其計畫ハ齟齬シ財政ハ弥縫スル能ハサルニ至リ突然兌換停止ヲ行ヒ政府ノ電信局モ鉄道モ税関モ其紙幣ヲ受取ラサルカ如キハ全ク政府破産ノ状態ニシテ信用ハ地ニ墜チタルモ袁ハ尚ホ退位セントスル模様ナキヲ以テ日本ハ此局面ヲ救ハンカ為メ南方側ノ希望ヲ酌ミ進テ相当ノ手段ヲ取ラントシタル際袁世凱ハ突然死亡シ此事ナクシテ止ミタルハ却テ幸トスル所ナルカ黎元洪大統領ヲ繼位シテ

ヨリ袁世凱ノ方針ヲ一變セントスル模様ナルニ因リ日本
モ之ヲ援助スルコト、ナルヘキカ目下支那ニ於テ最モ顧
慮スヘキハ財政ノ窘蹙セル一事ニシテ兌換ハ停止シ支
期限到達シタル外債ノ元利ヲ償還セサルモノ多ク此上永
ク紛糾ヲ続クルニ於テハ軍費益嵩ミ財政ハ愈窮乏シテ救
フ能ハサルニ至ラハ其恐ルヘキ結果ヲ生スヘシ而シテ万
一各國ニテ支那ニ財政監督ヲ置カント言フモ支那ハ之ヲ
拒絶スル能ハサルヤモ知ルヘカラス然ルトキハ獨立國タ
ルノ体面ヲ維持スル能ハサルヘキカ故ニ今ニ於テ一日モ
早ク妥協ノ途ヲ講シ時局ヲ收拾スルコト支那ノ為メ尤モ
得策ナリト信ス

黃氏曰ク 貴説ハ最御同感ニシテ速ニ時局ヲ收拾セント欲
スルモ北方派ハ頑冥ニシテ容易ニ妥協ニ応セス大体ニ於
テ異議ナシトスル旧約法ノ恢復サヘ言ヲ托シテ尚ホ決行
シ得サル有様ナルハ遺憾ナリ

石井大臣曰ク 支那ノ現状ハ恰モ千八百七十年ノ普仏戦争
ノ際ニ於ケル仏國ニ似タリ當時仏國ニ革命起リ帝政ヲ覆
シタルカ政体問題ニ付テハ議論頗ル紛々タリシモ戰後國
力疲弊シ如何トモスル能ハサルヲ以テ先ツ時局ヲ收拾シ

モ毫モ憂フルニ足ラサルヘシ此故ニ時局ノ收拾ハ実ニ當
面ノ急務ニシテ最モ緊要ナリト信スルヲ以テ我方ニテハ
各機關ヲ通シテ貴國ノ南北各方面ニ勸告スルト共ニ貴下
ニモ御話致ス次第ナレハ貴下ニ於テモ此旨ヲ領シ十分御
尽力アランコトヲ希望ス

黃氏曰ク 御厚情感謝ニ勝ヘス貴説ハ拙者ニ於テモ全ク御
同感ナリ併シ北方派ニシテ時局ヲ收拾セントスルノ誠意
アラハ妥協ハ困難ナラサルヘキモ袁ノ死後尚ホ多数ノ小
袁アリテ南方ノ主張ニ反対スルカ為メ妥協ハ進捗セサル
ナリ彼ノ帝政首唱者処罰ノ如キハ最初南方ノ宣言シタル
条件ノ一ナルヲ以テ此際全然此主張ヲ放棄スル能ハサル
ヘキモ其最モ重モナル者ニ相當ノ制裁ヲ加フル位ニテ妥
協スルモ差支ナカルヘク要スルニ自分モ御主意ノ如ク双
方ノ調和ヲ図ルニ尽力致スヘシ

石井大臣曰ク 然ラハ甚好都合ナリ貴下モ此際御帰國ノ上
直接時局ノ為メニ御尽力アリテハ如何

黃氏曰ク 自分モ既ニ其考ニテ來週頃ハ出發シタキ積リナ
リ本國ヨリモ屢々帰國ヲ促シ來ルニ因リ目下電報ニテ種
々打合中ナリ

國家ノ團結ヲ固フシ秩序ヲ維持シタル後數年ニシテ議會
ヲ召集シ投票ヲ行ヒタルニ共和政治ヲ希望スル者大多數
ニシテ遂ニ今日ノ國體ヲ決定シタルカ其時大統領ニ選ハ
レタル者ハ實ニ王党ノ一人ナレトモ大勢ニ抗スル能ハス
シテ共和ニ賛成シ就任スルニ至レリ支那ノ現狀モ之ニ等
シク或ハ共和ヲ主トシ或ハ帝政ヲ主トシ或ハ清帝ノ復位
ヲ図ル者アルカ如キモ人民ノ困苦ト財政ノ紊亂ハ日ニ益
々甚シキヲ以テ此際南北双方ニ意見ノ相違アリトスルモ
旧約法恢復等根本義ニ於テ同一ナル以上小異ヲ去テ大同
ニ就キ速ニ時局ヲ定ムルヲ上策トス目下ノ狀況ヲ察スル
ニ大勢ハ南方ノ主張ニ同情シ北方派モ亦此大勢ニ抗スヘ
カラサルヲ知ルモ自家ノ地位ヲ保持セントスル為メ猝カ
ニ南方側ニ膝ヲ屈スル能ハサルモノナルヘシ此故ニ此際
寬厚ノ態度ヲ以テ暫ク彼等ニ相當ノ体面ヲ保タシメ多少
ノ讓歩ヲナストモ相當ノ処ニテ一先ツ妥協ヲナシ彼ノ帝
制派ヲ処罰スル如キハ飽クマテ之ヲ追究スルニ及ハス時
局ヲ收拾シタル上國會ヲ開設シテ衆議ニ依リ諸事ヲ決定
スルコト仏國ノ如クスルトキハ大勢ハ遂ニ南方ノ主張ヲ
貫徹スルニ至ルヘク其際若干ノ帝政派アルモ宗社党アル

石井大臣曰ク 尚ホ念ノ為メ御話致置キタキコトアリ從來
袁世凱一派ハ日本カ支那ニ對スル野心ヲ唱ヘ種々ノ問題
ニ之ヲ利用シテ自家ニ益セントシ之カ為メ日支ノ國交ハ
非常ニ阻碍セラレタルカ今日ニ於テモ尚ホ日本ハ支那ヲ
侵略セントスルモノナリト誤解シ殊ニ滿蒙ヲ分割シテ併
合セントスルノ計畫アリト疑フ者アルカ如キハ誤レルノ
甚シキモノナリ其辺ハ貴下ニ於テハ疾ニ御了解ノコトナ
ランガ支那カ各國ニ分割セラル、トキハ日本ハ直ニ恐ル
ヘキ影響ヲ受クヘキコト明カナルヲ以テ支那ノ領土ヲ保
全スルハ日本ノ利益トスル次第ナルニ日本自ラ滿蒙ヲ侵
略スルカ如キハ是レ自ラ支那分割ノ端ヲ開クモノナルノ
ミナラス仮リニ日本カ滿蒙ヲ占有シタリトセハ之ニ要ス
ル軍事行政ノ費用ハ頗ル多大ニシテ日本國民ハ之カ負担
ニ苦シムヘク何レノ点ヨリスルモ日本ハ其最モ不利益ト
スル侵略ヲ敢テスルコトナカルヘシ然ラハ日本ハ何カ故
ニ支那ニ種々ノ要求ヲナシタルカト言フヘキモ袁政府ハ
日本ニ對シテ好意ヲ有セス却テ各國ニ對シテ種々ノ利權
ヲ讓与セルヲ以テ日本モ均衡上已ムヲ得ス要求ヲナシタ
ル次第ニテ滿洲ノ如キ日本人ハ内地ニ転居シテ農工業ヲ

營ミ両國人ニテ礦山ヲ開掘スルヲ得ル等日本ノ希望ハ十分ニ達セラルタルヲ以テ日本カ分割ヲ不利益トスル滿蒙ヲ支那ヨリ鬻斗ヲ付ケテ日本ニ贈与セラル、トモ之ヲ受取り兼ヌルモノナリ斯クノ如ク日本ハ支那ニ對シ毫モ領土の野心ナキハ明白ナル次第ナレハ其辺ハ貴下ヨリ誤解ナキ様隨時御説明アランコトヲ希望ス尚今後支那カ日本ニ對シ親善ノ方針ニ出テンカ日本ハ決シテ支那ノ意思ニ反シテ利權ヲ要求スルカ如キコト無カルヘキナリ

黃氏曰ク 御旨意ハ能ク了解セリ我國人中日本ニ對シテ誤會ヲ有スル者モアルヘキニ付自分ヨリ機會アル毎ニ説明シテ御旨意ヲ貫徹シ兩國ノ親交ニ資スヘシ
尚ホ一言御願ヒ致度ハ借款ノコトナリコレハ小池政務局長ニ御願致シ置キタルカ閣下ニ於テモ御配慮アランコトヲ希望ス

石井大臣曰ク 過般岑春煊氏ヨリ申出ノ借款ニ付テハ出来得ル限りノ尽力ヲナシ漸ク話ヲ纏ムルニ至リ東亜興業会社ノ如キハ特ニ株主會議ヲ開キ定款ヲ改正シテ御希望ニ応スルコト、シタルニ今回遂ニ不調ニ帰シタルハ残念ナリ元來民間ニ於テ巨額ノ資金ヲ融通スルニ相当ノ担保ヲ

求ムルハ当然ノ事ナルカ右ノ如ク種々ノ手順ヲ履ミ辛フシテ話ヲ纏メタルニ不調トナリシ為メ東亜興業ノ古市社長ノ如キハ株主ヨリ苦情ヲ言ハレ甚迷惑シ居レリ是故ニ此際又モ直ニ借款ヲ提議スルモ成立困難ナルヘキニ因リ暫ク時期ヲ待タル、ノ外ナカルヘシ

黃氏曰ク 尚ホ何分ノ御配慮ヲ請フ

石井大臣曰ク 承知セリ貴國ノ財政ニ就テハ前途ノ見込付カハ日本モ十分其整理ニ尽力致ス考ナリ

黃氏曰ク 御厚意ヲ謝ス

自分ハ遠カラス出発ノ積リナル故今回ハ再び推參致サ、ルヘシ我國ノコトハ今後トモ十分御援助ヲ乞フ

右ノ談終リ黃氏ハ官邸ヲ辭シ去レリ時ニ午前十一時ナリ

六月二十九日

(岩村成允筆記)

二三一 七月八日

石井外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

唐紹儀側ノ借款申出ニ関シ黎總統ノ意向内探

方訓令ノ件

第二六二号

在上海總領事ヨリ貴官ニ転電セル同官發第二二二号唐紹儀側ヨリ申出ノ借款談ニ関シ此際南方側ノ希望ニ応シ之ニ資金ヲ供給スルカ如キコトアルニ於テハ黎總統ヲシテ困難ナル地位ニ陥ラシムルカ如キ虞ナキヤ極メテ非公式且内密ニ同總統ノ内意ヲ探リ至急電報アリタシ

二三二 七月二十二日

在薩摩太田領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

時局ニ関スル岑春煊ノ内話報告ノ件

第一〇〇号

本日岑春煊ハ極内密ノ話トシテ左ノ通本官ニ語リタリ
予ハ貴國ノ自分ニ對スル好意ヲ多トシ居ルヲ以テ其好意ニ酬ユル為メニモ是非支那ノ大局ヲ維持シ且ツ日支親善ヲ計ラサルヘカラス尤モ自分ハ自ラ局ニ當リテ其政策ヲ実行セントスルモノニアラス黎總統ヲシテ之ヲ行ハシメ自ラ局外

ヨリ之ヲ援助スヘシ而シテ右ノ目的ヲ達センカ為ニハ自己ノ發言ニ重キヲ措カシムル為実力アル地位ヲ必要トスルヲ以テ自分ハ將來李烈鈞、林虎、張習、莫榮新ノ率ユル四軍ヲ直轄シ尚ホ外ニ陸榮廷、陳炳堃ト堅ク結ビ兩広都司令ノ名ヲ以テ兩広ノ軍權ヲ握リ廣東ニ駐在シ以テ自分ノ發言ヲシテ十分力アルモノタラシメタキ希望ナリ而シテ差当リ財源ヲ得ル為メニ広東ヲ手ニ収ムル必要アルヲ以テ電濟光ヲ飽迄排斥シ陸榮廷ニ勸メテ広東都督タラシメン考ナリ就テハ貴國ニ於テモ予ノ態度ヲ是トセラル、ニ於テハ十分御援助ヲ請フ云々

右談話ノ要領ヲ本官及井上少佐ヲ通シテ小池政務局長及青木中将ニ伝ヘラレタキ旨依頼アリタリ尚李根源ノ内話ニ依レハ現在岑春煊ト黎大總統トノ關係極メテ良好ナリト云フ